

2022 年度ゲノム編集食品に関する調査 報告書

2022 年 12 月吉日
全国消費者団体連絡会

目 次

I. ゲノム編集食品に関する調査の概要	1
II. 2022 年度ゲノム編集食品に関する調査結果の考察から見てきたこと	4
III. 調査結果	9
1. 食の安全について (Q1)	10
2. 日本の食の安全を守る仕組みについて (Q2)	12
3. 日本の食の安全についての信頼度 (Q3・4)	13
4. 「ゲノム編集食品」という言葉について (Q5)	16
5. 「ゲノム編集食品」に対するイメージについて (Q6・7)	17
6. 「ゲノム編集食品」について、どの程度深く知っているか (Q8)	24
7. 「ゲノム編集食品」に関する情報をどのような方法で得たいか (Q9) ..	30
8. 「ゲノム編集食品」についての自由記述 (Q10)	33
IV. 資料	34

I . ゲノム編集食品に関する調査の概要

【はじめに】

ゲノム編集技術応用食品（以下、ゲノム編集食品）の届出制度が 2019 年から始まり、国内ではすでに「GABA を多く含むトマト」「可食部の多いマダイ」「高成長のトラフグ」の届け出が受理されて実用化が始まりました。全国消団連は、ゲノム編集食品に対して疑問や不安を持っている消費者に対してどのようなリスクコミュニケーションを行えばいいのか考察するために、2022 年 6 月に広く一般消費者の認識や意向を把握するアンケート調査（認知度調査）を実施しました。調査分析において、ゲノム編集食品が世の中でどの程度知られ、食品添加物など食に関する様々な関心事の中でどの程度関心が寄せられているか、また情報を得るためにはどのような方法がよいかなど、現状を客観的に見ることにしました。

なお、アンケート調査の実施と生の回答データの納品を（株）マクロミルに委託し、調査の設問設定、結果の集計と取りまとめの実務作業は、全国消団連で行いました。

【調査概要】

1. 調査の目的

- （1）ゲノム編集食品に関わる基礎的なデータや資料を集約して、状況を把握できるデータベースとすること
- （2）今後、消費者に対してのコミュニケーション方法について検討を進めるための資料とすること
- （3）SFSS（食の安全と安心を科学する会）が主催する「食のリスクコミュニケーション・フォーラム 2022（2022 年 10 月 30 日）」・全体テーマ「消費者がゲノム編集食品を受容するか」における講演「消費者がゲノム編集食品を受け入れるには」にて、このアンケートの調査結果などを踏まえ、消費者がゲノム編集食品に対する疑問を解消するためには何が必要かを考察して発信する。
- （4）全国消団連では（3）のフォーラム開催前に行う学習会（8 月 30 日開催）参加者へも同じ設問（一部抜粋）のアンケートを実施し、ゲノムへの関心度が比較的高い層の動向も掴み、一般消費者の回答と比較する。学習会開催後にも再度参加者アンケートを行い、学習することによってゲノム食品への理解度や認識などにどのような心理的变化があったか考察する。

2. 調査方法

- （1）調査委託先：「（株）マクロミル」
- （2）調査期間：2022 年 6 月 2 日～6 日
- （2）対象者条件：20～69 歳の男女（年齢別人口分布）
※食品に関する調査のみの情報で、インターネット調査の参加募集をして、モニター参加いただいている
- （4）有効サンプル数：554 人
- （5）設問数：10 問

(6) 分析方法：

調査会社(株)マクロミル提供の集計ソフトを使用して、全国消団連にて分析。

・「n=30 未満は参考値として掲載」

3. 調査項目

- (1) 食の安全について関心があることは何か、その中でもっとも関心があることは何か (Q1)
- (2) 日本の食の安全を守る仕組みを知っているか (Q2)
- (3) 日本の食の安全についてどう思うか (Q3)
- (4) (3) で回答した選択肢の理由は何か (自由記述) (Q4)
- (5) 「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがあるか (Q5)
- (6) 「ゲノム編集食品」に対してどういうイメージがあるか (Q6)
- (7) (6) で回答した選択肢の理由は何か、その中でもっともあてはまる理由は何か (Q7)
- (8) ゲノム編集食品に関する認知の度合い (はい・いいえで回答) (Q8)
- (9) ゲノム編集食品に関する情報をどのような方法で得たいか (Q9)
- (10) ゲノム編集食品についての自由意見 (Q10)

以上の内容を全部で 10 項目の設問にしています。

Ⅱ． 2022 年度ゲノム編集食品に関する 調査結果から見えてきたこと

1. 食の安全について

(1) 食の安全について関心があること (Q1)

◆「ゲノム編集食品」は最も関心が低く、一番の関心事は「食品添加物」

食の安全について関心のあることすべてを選択（複数回答）してもらった結果は、「とくにない (38.1%)」が最も多く選択されました。「関心がある」とされた中では、食品添加物 (34.1%) が一番多く、続いて原産地 (29.4%)、以下、食中毒、健康食品、遺伝子組み換え食品、残留農薬と続く結果となりました。

また、今回の主たるテーマのゲノム編集食品 (9.9%) はリストに掲げた項目の中では一番関心が低い結果となりました。

なお、最も関心があることを一つ選択してもらった結果も、食品添加物 (22.4%) が最も多く、ゲノム編集食品 (2.6%) が一番低い関心度となりました。

以上から、「ゲノム編集食品」自体がまだよく知られておらず、また、そもそも食の安全についての関心が「とくにない」という回答が多かったことから、消費者自身をもっと「食の安全」そのものに関心を持てるよう、行政・事業者・消費者の間でコミュニケーションを高めていく必要があると考えられます。

(2) 日本の食の安全を守る仕組み (Q2)

◆「食の安全を守る仕組み」は、全体の半数以上が知らない

食の安全を守る仕組みについては「知らない (52.0%)」が最も多く、「聞いたことはある (32.5%)」と合わせると、仕組みを認知していない方が全体の約 85%でした。一方、「よく知っている」「ある程度知っている」は合わせて 15.5%にとどまりました。

年代別では、20 代、30 代の男性が他の年代に比べ「よく知っている」「ある程度知っている」の回答が高くなっています。

以上から、全体として食の安全を守る仕組みを知っている方は少ないのですが、若年層の認知が高めであることから、年代によっては教育の場などで、仕組みについて知る機会を得ていると考えられます。

(3) 日本の食の安全についての信頼度 (Q3・4)

◆「信頼できる」「ある程度信頼できる」が全体の約 7 割

「信頼できる」は 9.0%にとどまりましたが、「ある程度信頼できる」は 60.6%と高く、合わせて全体の約 7 割でした。「あまり信頼できない」「信頼できない」は合わせて 19.8%、「わからない」が 10.5%でした。

年代別では「信頼できる」という回答は男女とも 20 代が多く、一方「あまり信頼できない」という回答は 40 代、60 代の女性が多くなりました。

また、信頼度について選択した理由としては、「信頼できる」「ある程度信頼できる」

を選択した方の 6 割が「日本の基準が信頼できるから」「海外より安心だから」と回答し、「あまり信頼できない」「信頼できない」を選択した方からは「他国よりも（基準が）ゆるい農薬や、食品添加物の量が多い」「産地偽装などが多い」「添加物・農薬を使い放題」などの意見がありました。

以上より、本設問は認知度（Q2）と相関関係にあります。全体としては、食品の安全を守る仕組みの認知度が低い割に、信頼度が高い傾向があると考えられます。

2. 「ゲノム編集食品」

（1）「ゲノム編集食品」という言葉の認知度について（Q5）

◆ 「聞いたことはあるが、内容は知らない」「聞いたこともない」が全体の約 8 割

「ゲノム編集食品」という言葉を知っている方は全体の約 2 割にとどまり、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 41.9%、言葉さえ「聞いたことはない」が 38.6%と全体の約 8 割もありました。

また、「ゲノム編集食品」という言葉の認知度は、全体的にどの年代も、男性より女性のほうが低くなっていました。

以上より、「ゲノム編集食品」の認知については、まだ国内に広がっていないと言えます。

（2）ゲノム編集食品に対するイメージについて（Q6・7）

◆ 「どちらかといえば悪いイメージ」「悪いイメージ」が全体の約 6 割

「良いイメージ」はわずか 0.7%、「どちらかといえば良いイメージ」は 9.4%で、合わせても約 1 割程度でした。そして「どちらかといえば悪いイメージ」39.7%、「悪いイメージ」17.3%が合わせて約 6 割となり、残りの約 3 割は「とくにイメージはない」という結果でした。

選択したイメージの理由（複数選択）としては、全体として「不安である（27.8%）」「情報が少ない（23.1%）」「安全とは思えない（20.0%）」が上位を占め、次に続いたのは、「興味がない（17.1%）」「わからない（16.4%）」でした。

また、「良いイメージ」「どちらかといえば良いイメージ」の方はわずかでしたが、その方々が選択した理由（複数選択）を見ると「先進的な技術開発である」「持続可能な生産である」「安定供給できる」「食料問題の解決につながる」が上位となりました。

以上より、「ゲノム編集食品」の認知が広がっていないことから、こういったものなのか情報が得られず、ネガティブなイメージが先行していると言えます。

（3）「ゲノム編集食品」について、どの程度深く知っているか（Q8）

◆ 「ゲノム編集食品」自体、あまり知られていない

既に市場に登場している 3 つのゲノム編集食品のうち、いずれかを知っている方は

15.7%となりました。また、現在「多収量の稲」や「芽に毒のないジャガイモ」などが開発中であることを知っている方は17.3%でした。これら具体的な食品についての認知も少ないのですが、さらに「ゲノム編集食品」について踏み込んで聞いたクリスパーキャスナインの使用や、リスクは従来品種改良と同等であること^{注1}、食品への表示は任意である^{注2}ことなどを知っている方は、さらに少ない状況でした。

性別で見ると、全体的に女性より男性のほうが設問内容について知っているという回答が多い傾向がありますが、クリスパーキャスナインについては、男女・年代問わず知っている方は非常に少なくなっていました。

以上より、「ゲノム編集食品」の認知は低い状況にあります。知っている人であっても、どのような食品が市場にあるのかを知る程度にとどまっており、具体的なゲノム編集食品の技術やリスクまでの認識はないと言えます。

(注 1, 2 食品衛生上の取扱いにおいて、従来の育種技術でも起こりうるリスクにとどまるものとして届出・公表となる範囲のもの)

(4)「ゲノム編集食品」に関する情報をどのような方法で得たいか (Q9)

◆TVでの特集や簡易な読み物、短い動画などでの情報提供が求められている

具体的な方法(複数回答)としては「TV番組での特集」が35.2%と多く、「パンフレットやネットニュースなど簡易な読み物」23.1%、「5分未満のネット動画」20.2%と続き、「漫画」という回答も10.8%ありました。年代・性別では30代~60代の女性がTV番組特集やパンフレット・ネットニュースなどでの情報入手を求める割合が高くなっています。

一方、学習会や専門家との意見交換など、場を求める回答は4~6%程度でした。尚、一番多かった回答は「とくにない(39.7%)」で、男女とも全ての年代で3~4割の方が選択していました。

以上より、そもそもゲノム編集食品に対して興味・関心がなく、自ら進んで情報入手したいとも思っていない層が一定の割合でいることが考えられます。そのため、「ゲノム編集食品」について知る機会としては、TVの特集や短い動画などで、時間をかけず気軽に学べるコンテンツなどの提供が必要であると考えます。

(5)「ゲノム編集食品」についての自由記述 (Q10)

全体の約25%の方に記述をいただきました。記述の中では、「安全性に不安」「自然でない」「食べたくない」などのネガティブな意見と、「知りたい」「情報が欲しい」「関心がある」などのポジティブな意見がほぼ同じくらいでした。また、「プラスに感じる」「楽しみ」「食べてみたい」などの期待する意見もありました。

以上より、認知度に比べると多くの回答をいただけており、この調査への回答をきっかけに、「ゲノム編集食品」について関心を寄せていただけたとも考えられます。

【今後に向けて】

多くの消費者団体にとって「ゲノム編集食品」は、開発が進み市場に出てくるということで食品衛生上の取扱いの議論もあったことから、非常に関心の高いテーマでした。しかし今回の調査で、一般の消費者にとっては、ゲノム編集食品に対する関心度は著しく低く、ゲノム編集食品自体がまだよく知られていないことがわかりました。ゲノム編集技術がどのような技術なのか、その技術を使ってどのように品種改良がされ食品ができるのか、そして安全性はどのようなのかなど、一般の消費者はまだ知る機会が少なく、そしてイメージも悪いようです。

既にゲノム編集食品は市場に出ています。消費者自らが判断し商品選択ができるよう、事業者には積極的に情報提供をすること、表示は任意表示となっていますが、自主的にわかりやすい表示をすることが求められると考えます。あわせて、ゲノム編集食品について認知を広げるために、TV 番組の特集や、ネットでの短い動画など、時間をかけず気軽に学べるコンテンツの提供も必要だと考えます。

また、今回の調査では食の安全を守る仕組みと食の安全の信頼度について、全体として仕組みの認知度が低い割には信頼度が高いことがわかりました。これは、多くの人が普段の生活の中では食の安全について特に深く考えることもなく、普通に食生活を送ることができているからではないでしょうか。しかし、本来は消費者がもっと食の安全に関心を持てるよう、コミュニケーションを高めていく必要があると考えます。

事業者・行政・消費者などが連携して、様々な立場から意見を出し合うことで理解が深められていくようなリスクコミュニケーションを進めていくことが必要だと思います。

全国消費者団体連絡会

Ⅲ. 調査結果

1. 食の安全について (Q1)	1 1
2. 日本の食の安全を守る仕組みについて (Q2)	1 3
3. 日本の食の安全についての信頼度 (Q3・4)	1 4
4. 「ゲノム編集食品」という言葉について (Q5)	1 7
5. ゲノム編集食品に対するイメージについて (Q6・7)	1 8
6. 「ゲノム編集食品」について、どの程度深く知っているか (Q8)	2 5
7. 「ゲノム編集食品」に関する情報をどのような方法で得たいか (Q9) ...	3 1
8. 「ゲノム編集食品」についての自由記述 (Q10)	3 4

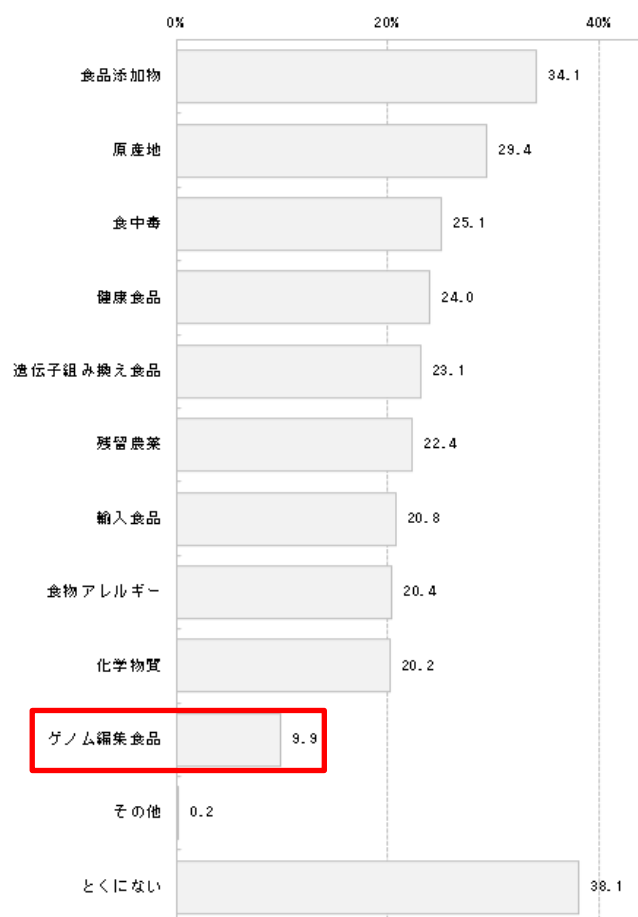
1. 食の安全について（Q1）

（1）食の安全について、関心があることをすべて回答いただいた。

「食品添加物」34.1%、「原産地」29.4%、「食中毒」25.1%、「健康食品」24%、「遺伝子組み換え食品」23.1%、「残留農薬」22.4%、「輸入食品」20.8%、「食物アレルギー」20.4%、「化学物質」20.2%のテーマについては、調査対象の約20%～約35%の方が関心があると回答した。「ゲノム編集食品」は約10%と関心が低いことがわかった。

複数回答	n	%
全体	(554)	
食品添加物	189	34.1
原産地	163	29.4
食中毒	139	25.1
健康食品	133	24.0
遺伝子組み換え食品	128	23.1
残留農薬	124	22.4
輸入食品	115	20.8
食物アレルギー	113	20.4
化学物質	112	20.2
ゲノム編集食品	55	9.9
その他	1	0.2
とくにない	211	38.1

※複数選択のため、100%になりません



性別では、男性は「とくにない」43.9%・「原産地」24.1%、女性は「食品添加物」45.3%・「原産地」34.8%の回答が多く、「食品添加物」は女性の方の関心が高く、性別による回答率の差が一番大きかった。また、いずれの項目も女性の方の選択率が高く、女性の方が食の安全に関する関心が高い様子がうかがえる。

年代別では、「とくにない」を除くと、20代は「食物アレルギー」が28.1%、30代は「健康食品」が32.7%、40代・60代は「食品添加物」がそれぞれ29.8%・42.5%、50代は「原産地」が41.7%と関心が高かった。



30代以下では「健康食品」30%、「食物アレルギー」27.9%の関心が高いのに対し、40代以上では「食品添加物」36.8%、「原産地」34.1%の関心が高い。

	全体	食品添加物	原産地	食中毒	健康食品	遺伝子組み換え食品	残留農薬	輸入食品	食物アレルギー	化学物質	ゲノム編集食品	その他	とくにない
全体	(554)	34.1	29.4	25.1	24.0	23.1	22.4	20.8	20.4	20.2	9.9	0.2	36.1
30代以下	(190)	28.9	20.5	21.1	30.0	18.8	16.8	17.4	27.9	17.4	11.1	0.0	40.5
40代以上	(364)	36.8	34.1	27.2	20.9	26.4	25.3	22.5	16.5	21.7	9.3	0.3	36.8

(2) もっとも関心があることを一つだけ回答(「とくにない」を選択した人は除く)いただいた。

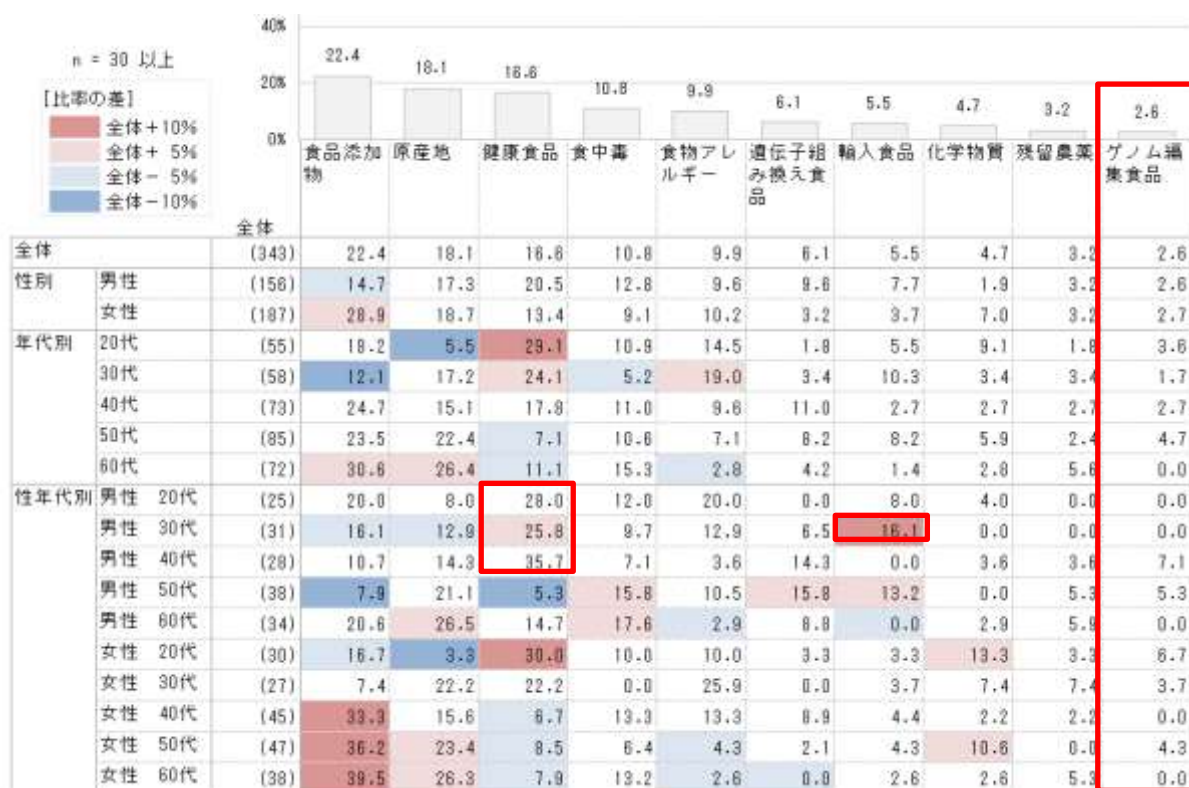
食の安全について、「食品添加物」22.4%・「原産地」18.1%・「健康食品」16.6%・「食中毒」10.8%「食物アレルギー」9.9%をもっとも関心があると回答した人が多かった。特に「食品添加物」は22.4%と高かった。「ゲノム編集食品」への関心は2.6%と低い回答だった。

単一回答	n	%
全体	(343)	(100)
食品添加物	77	22.4
原産地	62	18.1
健康食品	57	16.6
食中毒	37	10.8
食物アレルギー	34	9.9
遺伝子組み換え食品	21	6.1
輸入食品	19	5.5
化学物質	16	4.7
残留農薬	11	3.2
ゲノム編集食品	9	2.6



※端数の関係で100%になっていません

性年代別にみると、20～40代の男性と20代女性では、「健康食品」にもっとも関心があると回答した人が多かった。30代男性が他の性年代に比べて「食品輸入」の関心が高かった。



30代以下では「健康食品」26.5%、「食物アレルギー」16.8%の関心が高いのに対し、40代以上では「食品添加物」26.1%、「原産地」21.3%の関心が高い。

	全体	食物アレルギー	食品添加物	残留農薬	食中毒	化学物質	ゲノム編集食品	遺伝子組み換え食品	輸入食品	原産地	健康食品
全体	(343)	9.9	22.4	3.2	10.8	4.7	2.6	6.1	5.5	18.1	16.6
30代以下・40代	(113)	16.8	15.0	2.7	8.0	6.2	2.7	2.7	8.0	11.5	26.5
20代	(55)	18.2	5.5	28.1	10.9	14.5	1.8	5.5	9.1	1.8	3.6
30代	(58)	12.1	17.2	24.1	5.2	19.0	3.4	10.3	3.4	3.4	1.7
40代	(73)	24.7	15.1	17.8	11.0	9.8	11.0	2.7	2.7	2.7	2.7
50代	(85)	23.5	22.4	7.1	10.6	7.1	8.2	8.2	5.9	2.4	4.7
60代	(72)	30.6	26.4	11.1	15.3	2.8	4.2	1.4	2.8	5.6	0.0

2. 日本の食の安全を守る仕組みについて (Q2)

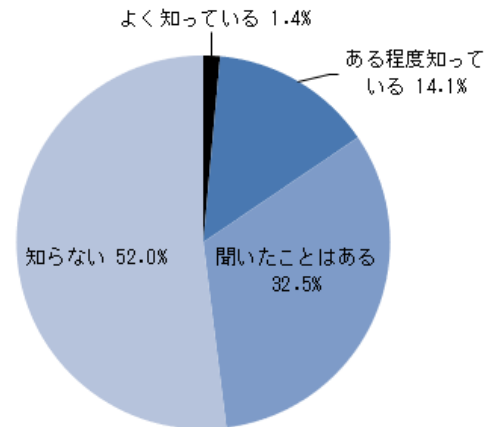
(1) 日本の食の安全を守る仕組み¹の認知について回答いただいた。

「聞いたことはある」「知らない」と回答した方（「知っている」「ある程度知っている」以外）が全体の約85%だった。

性年代別では、20代・30代の男性のそれぞれ32.6%・21.6%の方が「ある程度知っている」を選択し、「知っている」を含めると他の性年代別と比べてさらに高い割合だった。

¹ 日本の食の安全を守る仕組みは、リスク評価(食品安全委員会)・リスク管理(厚生労働省、農林水産省など)・リスクコミュニケーションの3要素から構成され、これら行政機関の連携によって食品の安全性を確保している仕組み

単一回答		n	%
全体		(554)	(100)
1	よく知っている	8	1.4
2	ある程度知っている	78	14.1
3	聞いたことはある	180	32.5
4	知らない	288	52.0



		全体	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	知らない	(%)
全体		(554)	1.4	14.1	32.5	52.0	
性別	男性	(278)	2.2	18.0	35.3	44.6	
	女性	(276)	0.7	10.1	29.7	59.4	
年代別	20代	(89)	4.5	24.7	28.1	42.7	
	30代	(101)	2.0	15.8	36.6	45.5	
	40代	(131)	0.8	9.2	29.0	61.1	
	50代	(120)	0.8	16.7	37.5	45.0	
	60代	(113)	7.1		31.0	61.9	
性年代別	男性 20	(46)	4.3	32.6	21.7	41.3	
	男性 30	(51)	3.9	21.6	37.3	37.3	
	男性 40	(66)	1.5	13.6	30.3	54.5	
	男性 50	(60)	1.7	16.7	46.7	35.0	
	男性 60	(55)	9.1		38.2	52.7	
	女性 20	(43)	4.7	16.3	34.9	44.2	
	女性 30	(50)	10.0		36.0	54.0	
	女性 40	(65)	4.6	27.7		67.7	
	女性 50	(60)	16.7		28.3	55.0	
	女性 60	(58)	5.2	24.1		70.7	

「ある程度知っている」について、30代以下では20%だったのに対し、40代以上では11%だった。

	全体	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	知らない
全体	(554)	1.4	14.1	32.5	52.0
30代以下・40代以上	(190)	3.2	20.0	32.6	44.2
	(364)	0.5	11.0	32.4	56.0

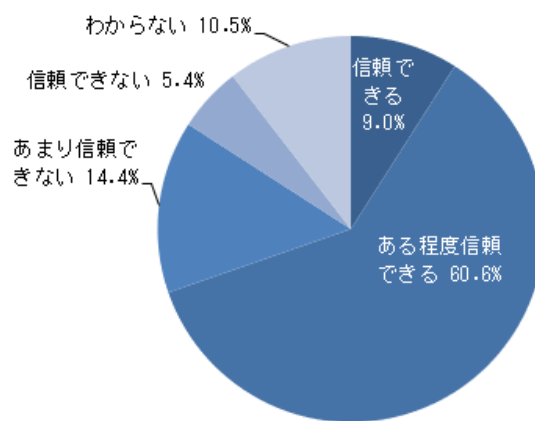
3. 日本の食の安全についての信頼度について (Q3・4)

(1) 日本の食の安全についての信頼度について回答いただいた

全体で約7割の方が「信頼できる」「ある程度信頼できる」と回答し、「あまり信頼できない」「信頼できない」は約2割だった。

単一回答		n	%
	全体	(554)	(100)
1	信頼できる	50	9.0
2	ある程度信頼できる	336	60.6
3	あまり信頼できない	80	14.4
4	信頼できない	30	5.4
5	わからない	58	10.5

※端数の関係で100%になっていません



「信頼できる」について、20代が18%で他の年代に比べて、高かった。

		全体	信頼できる	ある程度信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない	わからない	(%)
全体		(554)	9.0	60.6	14.4	5.4	10.5	
性別	男性	(278)	9.7	60.8	15.1	4.0	10.4	
	女性	(276)	8.3	60.5	13.8	6.9	10.5	
年代別	20代	(89)	18.0	57.3	9.0	6.7	9.0	
	30代	(101)	10.9	65.3	10.9	6.9	5.9	
	40代	(131)	6.1	54.2	16.8	5.3	17.6	
	50代	(120)	8.3	67.5	12.5	4.2	7.5	
	60代	(113)	4.4	59.3	21.2	4.4	10.6	
	性年代別							
性年代別	男性 20代	(46)	17.4	50.0	13.0	6.5	13.0	
	男性 30代	(51)	9.8	66.7	15.7	5.9	10.0	
	男性 40代	(66)	4.5	56.1	13.6	4.5	21.2	
	男性 50代	(60)	11.7	65.0	15.0	1.7	6.7	
	男性 60代	(55)	7.3	65.5	18.2	1.8	7.3	
	女性 20代	(43)	18.6	65.1	4.7	7.0	4.7	
	女性 30代	(50)	12.0	64.0	6.0	8.0	10.0	
	女性 40代	(65)	7.7	52.3	20.0	6.2	13.8	
	女性 50代	(60)	5.0	70.0	10.0	6.0	13.0	
	女性 60代	(58)	1.7	53.4	24.1	6.9	13.8	

「信頼できる」について、30代以下では14.2%だったのに対し、40代以上では6.3%だった。

		全体	信頼できる	ある程度信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない	わからない
全体		(554)	9.0	60.6	14.4	5.4	10.5
30代以下・40代以上	20代 30代	(190)	14.2	61.6	10.0	6.8	7.4
	40代 50代 60代	(364)	6.3	60.2	16.8	4.7	12.1

（２）日本の食の信頼度で選択肢を選んだ理由についての自由記述（※前問で「わからない」を選択したモニター以外の必須回答）

「信頼できる」「ある程度信頼できる」を選択した方の 6 割が「日本の基準が信頼できるから」「海外より安心だから」と回答した。ただし、そのうち約 1 割の方に「添加物が多すぎる」「農薬や添加物のルールがゆるい」「表示ルールがあいまい」「ごまかしや騙しが多い」などの否定的な意見が入っていた。

「あまり信頼できない」「信頼できない」を選択した方は「他国よりもゆるい農薬や、食品添加物の量が多い」「産地偽装などが多い」「添加物 農薬 使い放題」「国としてある程度の監視はしていると思うがお役所仕事で表面的な検査しか出来ていない気がする」「海外では禁止されている食品添加物や農薬が使われているから」「完璧ということは、ありえないとおもうから」「トランス脂肪酸など海外では早々に使用が禁止されている添加物なども、まだ日本では使用されている。国民の食の安全よりも諸外国との貿易に重点を置いていると思う」「全面的には信用していないが野放しでもないだろうくらいの感覚」などの意見があった。

その他、「なんとなく」「わからない」などの回答が約 3 割近くあった。

	選択肢	主な理由
1	信頼できる	日本だから、衛生管理が厳しそうだから、法律や行政の管理が基本的にあるから、検査機関を信用しているから、中国など他国に比べて深刻な健康問題などは見聞きしていないから、ある程度の基準を通過しているから、農家・業者の良心に任されている感じがするから
2	ある程度信頼できる	海外よりも規制や検査体制が厳しいと思うから、国の安全基準が信頼出来ると思うから、日本製だと検査などもしっかりしていると思うから、食の安全に関して「重大なミス」をしたという報道はあまり聞かないから、他国と比べて基準が厳しいと思うので信頼できるから、日本人のモラルが高いから、アレルギーや添加物についての記載がきちんとあるから、厚労省の審査が厳しいから、工場などの衛生管理が徹底していてしっかりしていると思うから、産地や生産者を分かるようにしているから、外国産よりも国産の方が薬剤や信頼性においても安心して食べることができるから、日本のものは品質が良いものが多いと思うから、現実にあまり心配しないで何でも食べられるから、基本小売店で購入する際にきちんと産地や生産者が見えるから、食中毒等で死者があまり出ていないから、環境が他の国より良いから、あまり事件や事故などが起きていないから、危険性があった場合は、割とすぐ発表してくれるから、地産地消の取り組みなど

		にも力を入れてきているから、日本は世界で一番衛生管理が徹底されているから、他国比べたら保健所など立入検査などあるから安心だから、冷凍や保存技術が進歩しているから、日本は昔から輸入に頼ってきたので食については国が安全管理をきちんとやっていると思うから、消費者の意識が高いから
3	あまり信頼できない	他国よりもゆるい農薬や食品添加物の量、産地偽装などが多いから、輸入品が多いから、トランス脂肪酸が記載されていないので他にも良くないものがたくさんあると思うから、添加物・農薬を使い放題、国としてある程度の監視はしていると思うがお役所仕事で表面的な検査しか出来ていないから
4	信頼できない	海外では禁止されている食品添加物や農薬が使われているから、完璧ということはありえないと思うから、残留農薬検査も全部しているわけではなく農家・業者の良心に任されているから、儲け主義

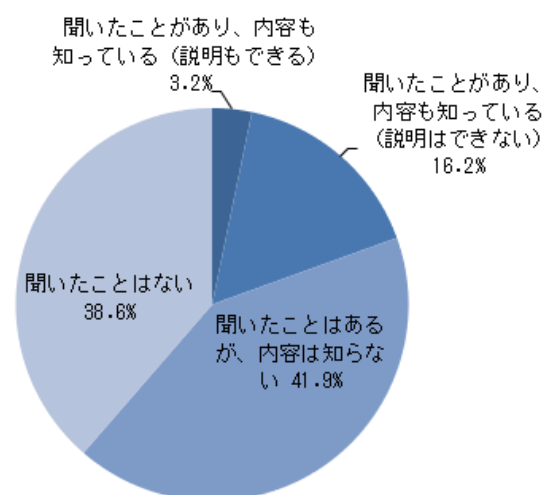
4. 「ゲノム編集食品」という言葉について (Q5)

(1) 「ゲノム編集食品」という言葉の認知度について回答いただいた。

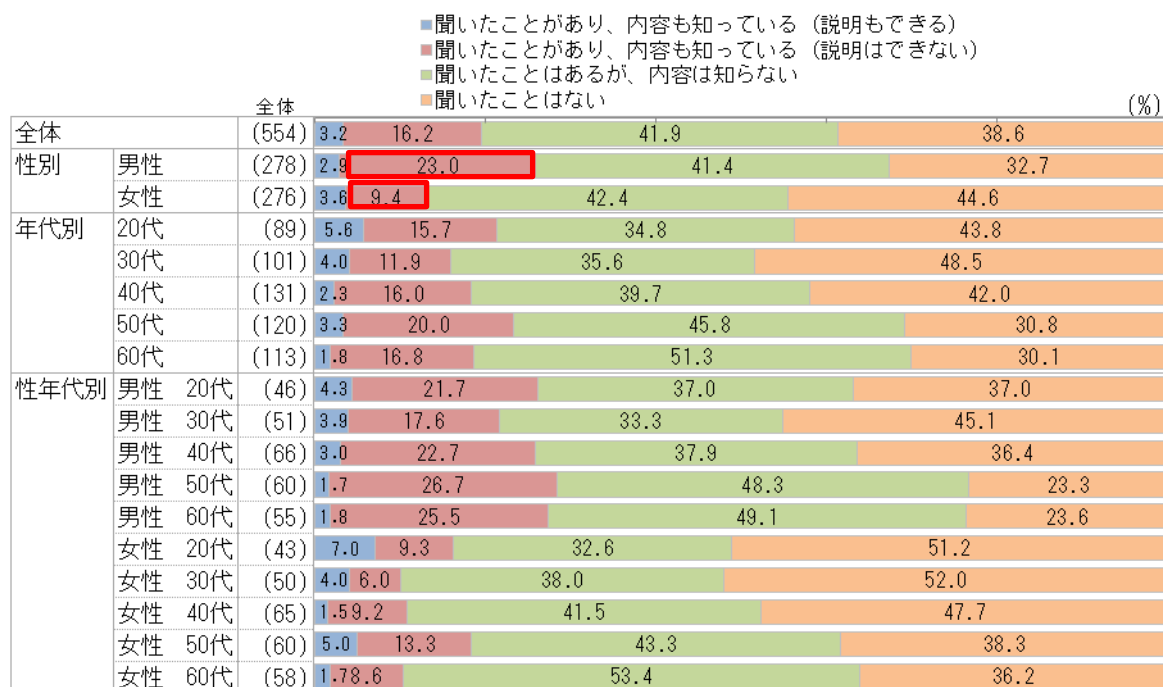
全体の約2割の方が「聞いたことがあり、内容も知っている(説明もできる)」「聞いたことがあり、内容も知っている(説明はできない)」を回答し、残りの約8割の方は「聞いたことはあるが、内容は知らない」「聞いたことはない」と回答した。

単一回答		n	%
	全体	(554)	(100)
1	聞いたことがあり、内容も知っている(説明もできる)	18	3.2
2	聞いたことがあり、内容も知っている(説明はできない)	90	16.2
3	聞いたことはあるが、内容は知らない	232	41.9
4	聞いたことはない	214	38.6

※端数の関係で 100% になっていません



特徴的なのが、「聞いたことがあり、内容も知っている(説明はできない)」について、男性が23%だったのに対して、女性は9.4%だった。性別による認知の差が見られた。「ゲノム編集食品」はほかの分野に比べてもの関心が低かったが、そもそも認知されていない。

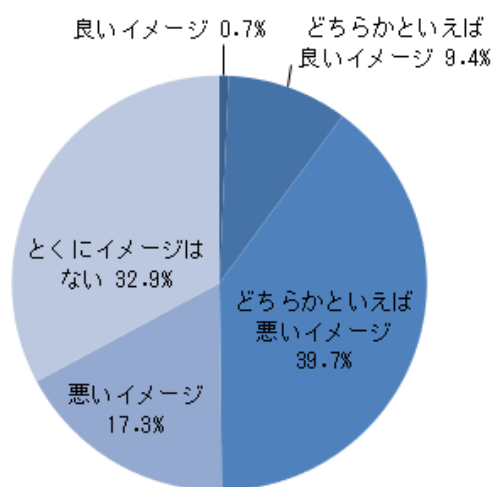


5. ゲノム編集食品に対するイメージについて (Q6・7)

(1) ゲノム編集食品に対するイメージについて、あてはまるものを回答いただいた。

全体の約6割の方が「どちらかといえば悪いイメージ」「悪いイメージ」と回答し、「良いイメージ」「どちらかといえば良いイメージ」と回答した方は約1割だった。残りの約3割の方は「とくにイメージはない」と回答だった。性・年代別でイメージの大きな差異は見られなかった。

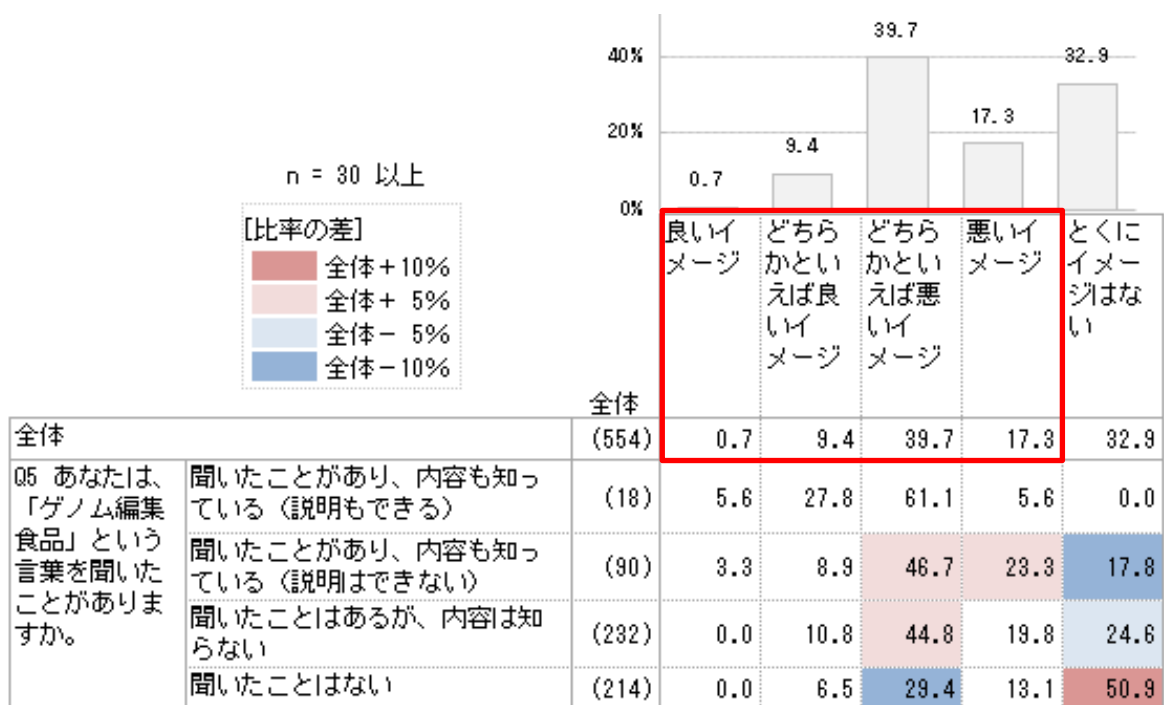
単一回答	n	%
全体	(554)	(100)
1 良いイメージ	4	0.7
2 どちらかといえば良いイメージ	52	9.4
3 どちらかといえば悪いイメージ	220	39.7
4 悪いイメージ	96	17.3
5 とくにイメージはない	182	32.9



日本の食の安全について、「信頼できる」「ある程度信頼できる」と回答したにも関わらず、そのうちの約6割の方がゲノム編集食品については「どちらかといえば悪いイメージ」「悪いイメージ」を選択している。



「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる・説明はできない）」と回答した方でも「良いイメージ」・「どちらかといえば良いイメージ」は約16%（全体では約1割）で、内容を知っても約7割（全体では57%）が「どちらかといえば悪いイメージ」・「悪いイメージ」の回答だった。

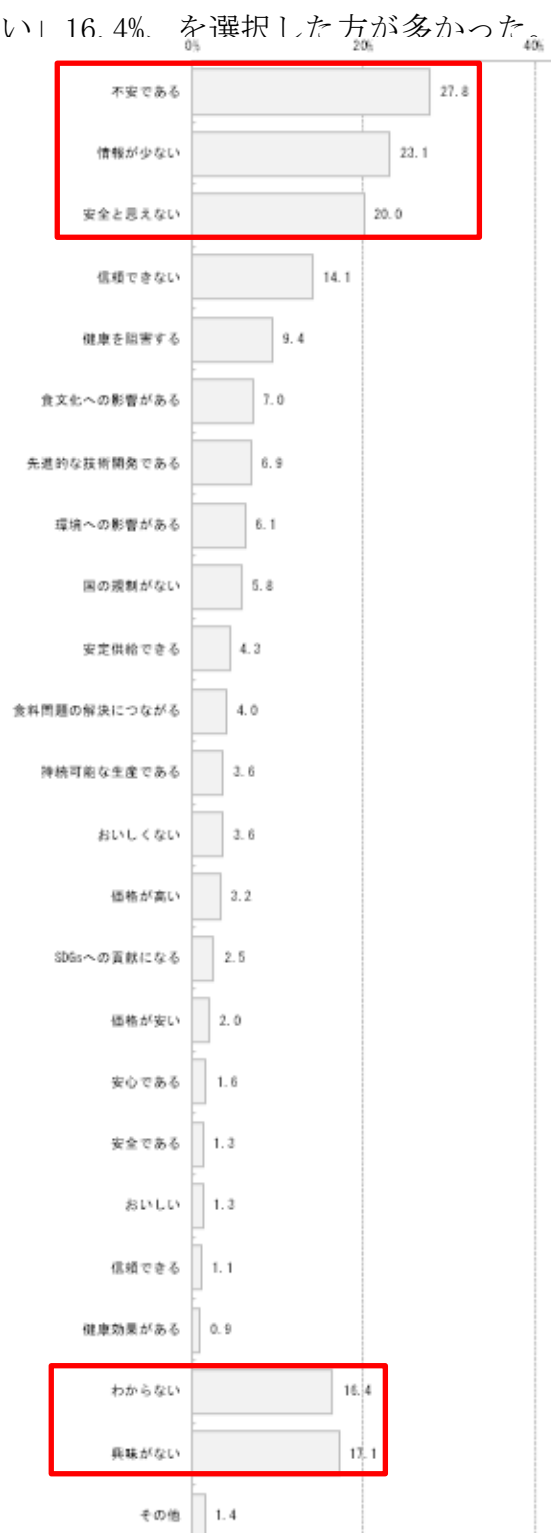


(2) ゲノム編集食品に対して選択したイメージの理由として、あてはまるものをすべて回答いただいた。

ゲノム編集食品に対して持っているイメージの理由（複数選択）として、全体の2割から3割の方が「不安である」27.8%、「情報が少ない」23.1%、「安全とは思えない」20%を選択した。

その他、「興味がない」17.1%、「わからない」16.4% を選択した方が多かった。

複数回答	n	%
全体	(554)	
不安である	154	27.8
情報が少ない	128	23.1
安全とは思えない	111	20.0
信頼できない	78	14.1
健康を阻害する	52	9.4
食文化への影響がある	39	7.0
先進的な技術開発である	38	6.9
環境への影響がある	34	6.1
国の規制がない	32	5.8
安定供給できる	24	4.3
食料問題の解決につながる	22	4.0
持続可能な生産である	20	3.6
おいしくない	20	3.6
価格が高い	18	3.2
SDGs への貢献になる	14	2.5
価格が安い	11	2.0
安心である	9	1.6
安全である	7	1.3
おいしい	7	1.3
信頼できる	6	1.1
健康効果がある	5	0.9
わからない	91	16.4
興味がない	95	17.1
その他	8	1.4



(3) ゲノム編集食品に対して選択したイメージの理由として、最も当てはまる理由を回答いただいた。

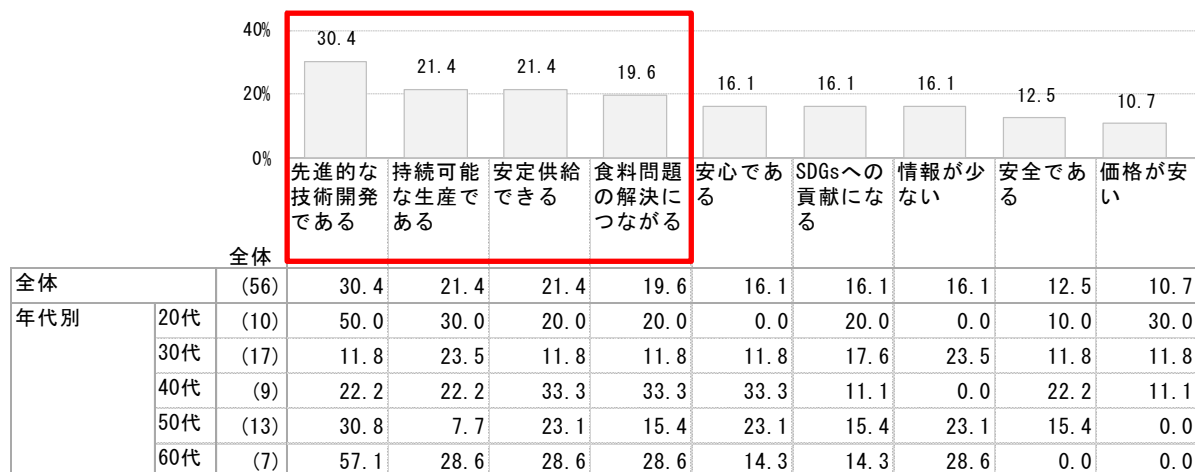
ゲノム編集食品に対して持っているイメージの理由（単一回答）として、「情報が少ない」16.8%「不安である」14.8%「安全とは思えない」9.9%が多かった。

「わからない」「興味がない」について、調査対象の 32.5%がどちらかを選択した。

単一回答	n	%
全体	(554)	
情報が少ない	93	16.8
不安である	82	14.8
安全とは思えない	55	9.9
信頼できない	27	4.9
健康を阻害する	21	3.8
先進的な技術開発である	13	2.3
食文化への影響がある	11	2.0
持続可能な生産である	10	1.8
安定供給できる	7	1.3
環境への影響がある	7	1.3
国の規制がない	7	1.3
SDGs への貢献になる	6	1.1
食料問題の解決につながる	5	0.9
おいしくない	4	0.7
安心である	4	0.7
価格が高い	4	0.7
おいしい	3	0.5
安全である	3	0.5
価格が安い	3	0.5
健康効果がある	1	0.2
信頼できる	0	0.0
わからない	89	16.1
興味がない	91	16.4
その他	8	1.4

(4) ゲノム編集食品に対して、「良いイメージ」「どちらかと言えば良いイメージ」を選択した方（年代別）の理由で最も当てはまる理由は？

複数選択の場合、全てのイメージで回答いただいた理由とは異なり、「先進的な技術開発である」30.4%、「持続可能な生産である」21.4%、「安定供給できる」21.4%、「食料問題の解決につながる」19.6%が理由の上位に来了。

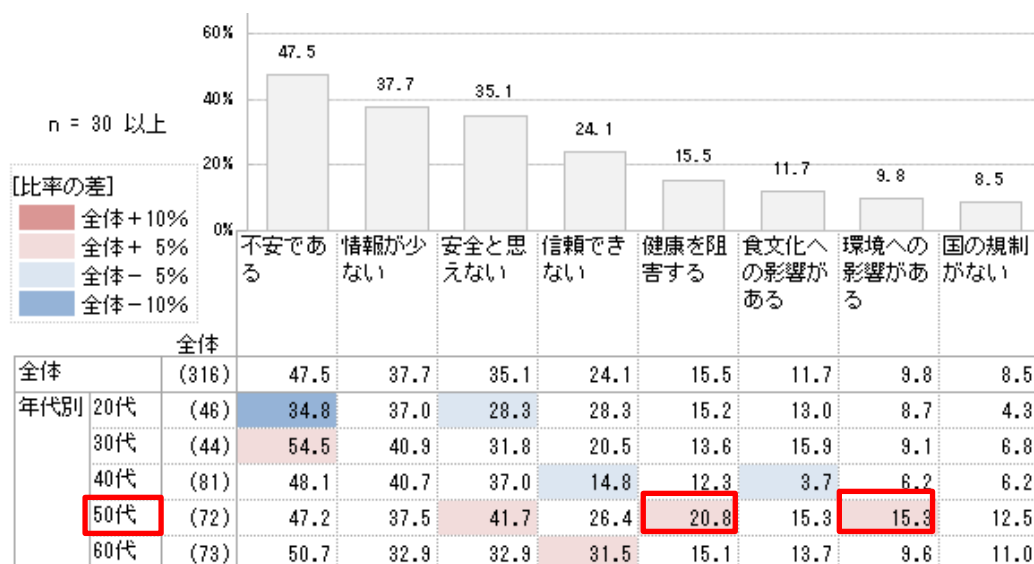


単一回答の場合、「安全である」19.6%が一番多かった。

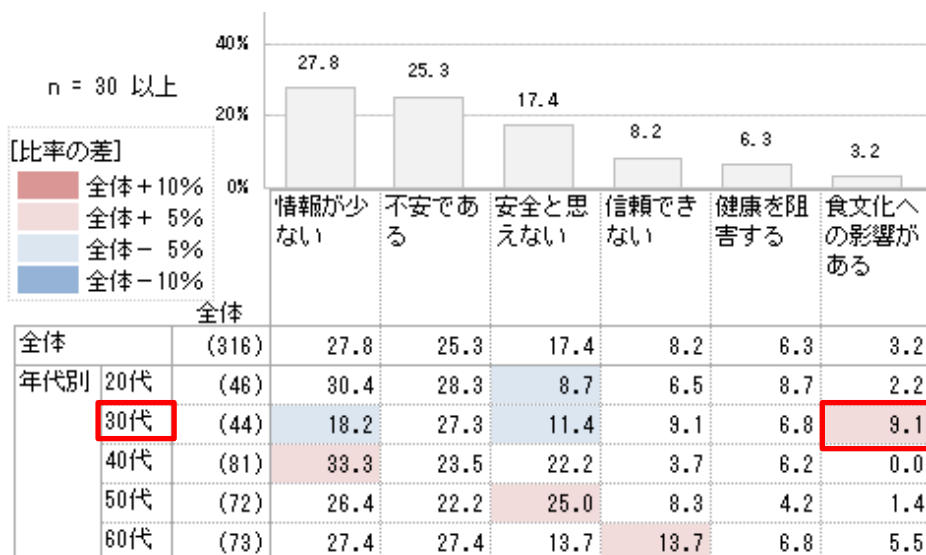


(5) ゲノム編集食品に対して、「どちらかといえば悪いイメージ」「悪いイメージ」と回答した方（年代別）の理由で当てはまる理由は？

複数選択の場合の年代別回答の特徴としては、50代で「健康を阻害する」20.6%、「環境への影響がある」15.3%が他の年代と比べて多かった。

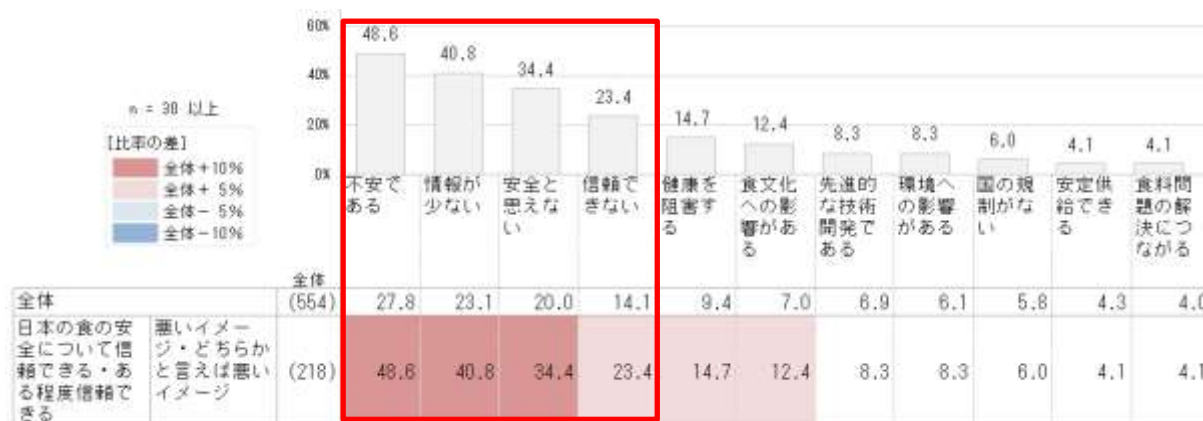


単一回答の場合の年代別回答の特徴としては、30代で「食文化への影響がある」9.1%が他の年代と比べて多かった。

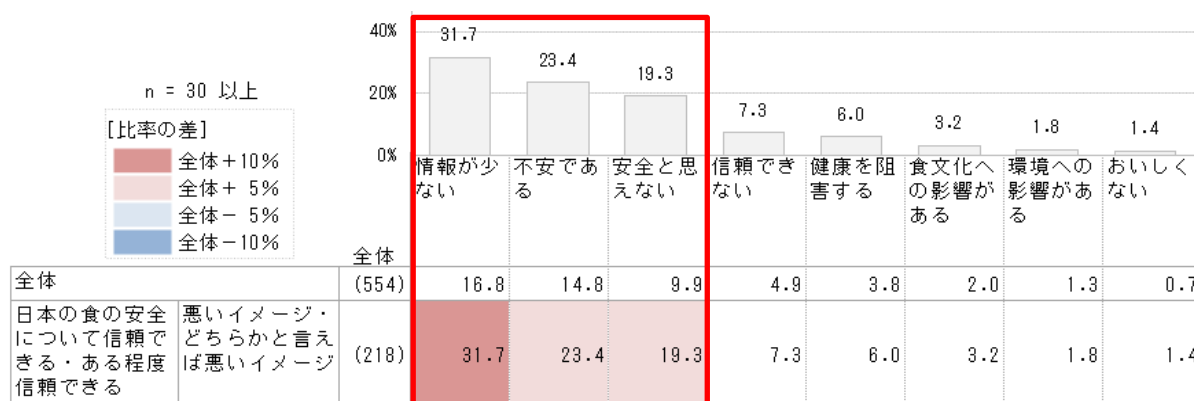


(6) 日本の食の安全について、「信頼できる」「ある程度信頼できる」を選択した人で、ゲノム編集食品に対して「悪いイメージ」「どちらかと言えば悪いイメージ」と回答した方の理由は？

複数回答の場合、調査対象の約半数が「不安である」を選択し、「情報が少ない」40.8%、「安全とは思えない」34.4%、「信頼できない」23.4%の順に回答が多かった。

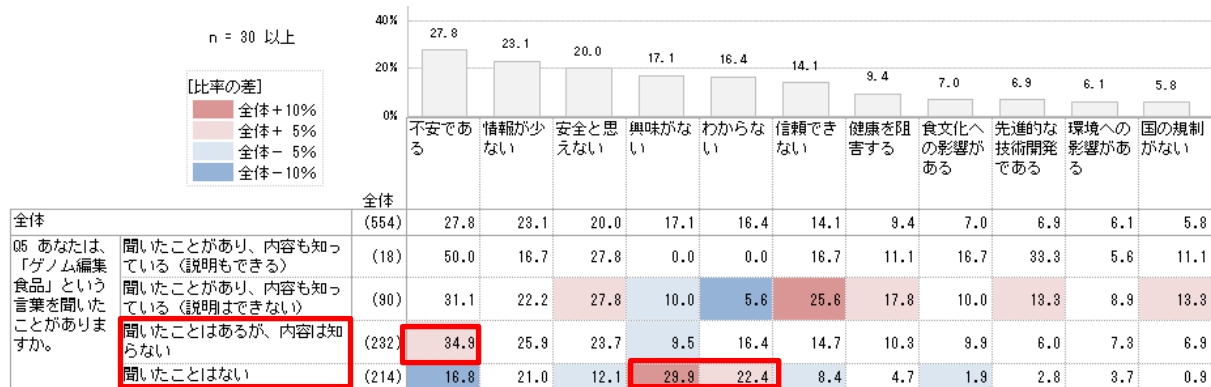


単一回答の場合、調査対象の約3割が「情報が少ない」を選択し、「不安である」23.4%、「安全とは思えない」19.3%の順に回答が多かった。

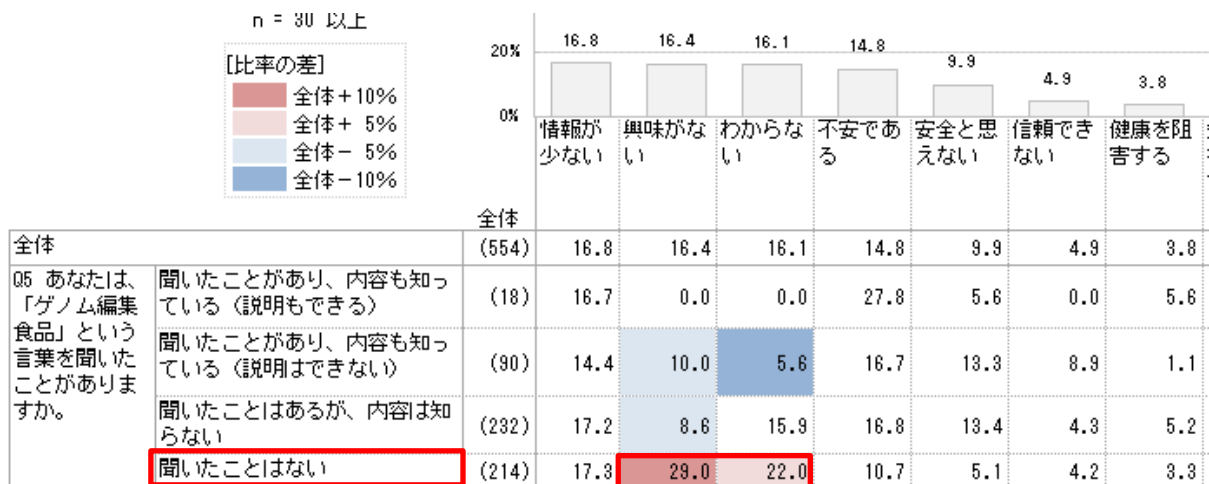


(7)「ゲノム編集食品」という言葉についての認知度の違いによって、選択したイメージの理由の違いはあったか？

複数回答では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した方が選択したイメージの理由としては、予想できる当然の回答ではあるが「不安である」34.9%が一番多かった。「聞いたことはない」と回答した方が選択したイメージの理由としては、「興味がない」29.9%、「わからない」22.4%が多かった。



単一回答でも、「聞いたことはない」と回答した方が選択したイメージの理由としては、複数回答と同様に、「興味がない」29%、「わからない」22%が多かった。



6. 「ゲノム編集食品」について、どの程度深く知っているか (Q8)

(1) 「ゲノム編集食品」について、どの程度深く知っているか「はい」か「いいえ」で回答いただいた。

単一回答マトリクス

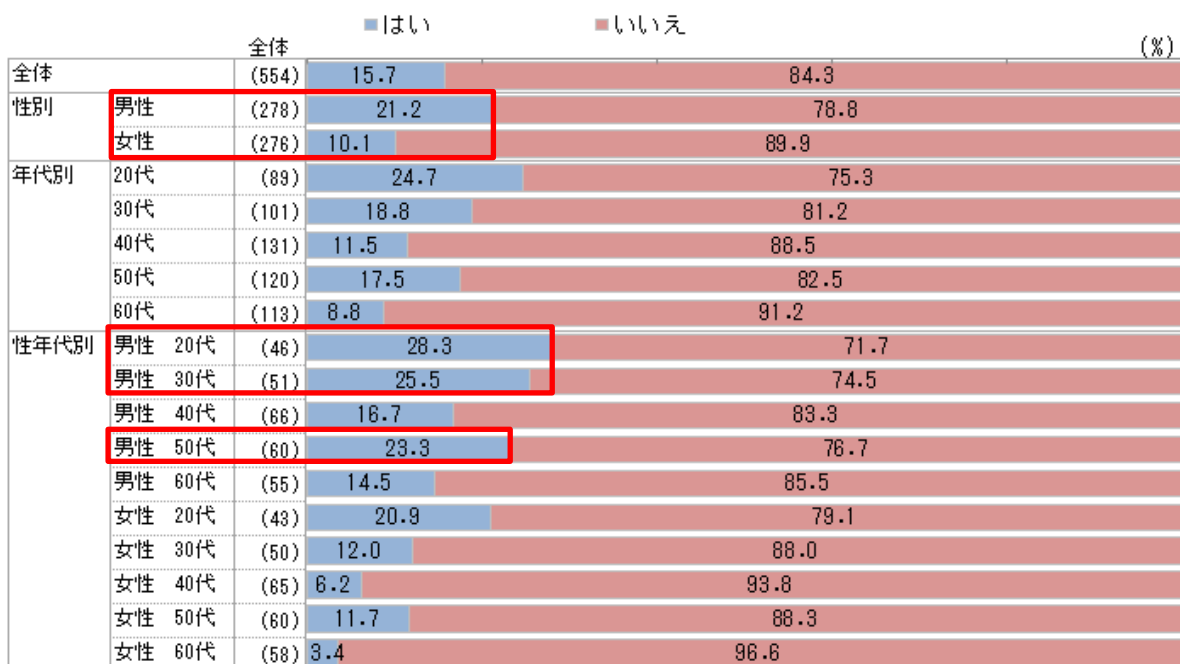
		1	2
	全体	はい	いいえ
1	ゲノム編集食品が市場に登場したこと(GABA が多く含まれるトマト、肉厚のマダイ、成長の速いトラフグのいずれか)を知っている	(554) 87	467
	100%	15.7	84.3
2	現在、様々なゲノム編集食品(超多量収穫イネ、芽に毒のないジャガイモなど)が開発中であることを知っている	(554) 96	458
	100%	17.3	82.7
3	ゲノム編集には、ノーベル化学賞を受賞した「クリスパーキャスナイン」(CRISPR-Cas9)が使われていることを知っている	(554) 29	525
	100%	5.2	94.8
4	ゲノム編集食品は、厚生労働省が科学的に従来の品種改良と同等のリスクであると言っていることを知っている	(554) 59	495
	100%	10.6	89.4

	※最終的に自然界の従来の育種技術でも起こっている範囲内の遺伝子変化のものは届出で、それを超える遺伝子変化のものは安全性審査の対象となっていますが、現状では前者であるため、本調査の質問ではわかりやすさを重視した			
5	ゲノム編集食品の表示は、消費者庁が科学的に従来の品種改良や育種技術と区別ができないため、表示の義務化はせず任意表示としていることを知っている	(554)	45	509
	※最終的に自然界の従来の育種技術でも起こっている範囲内の遺伝子変化のものを厚生労働省が届出制度を経たものは任意表示で、それを超える遺伝子変化のものは安全性審査の対象となり義務表示となりますが、現状では前者であるため、本調査の質問ではわかりやすさを重視した	100%	8.1	91.9



①ゲノム編集食品が市場に登場したこと (GABA が多く含まれるトマト、肉厚のマダイ、成長の速いトラフグのいずれか) を知っているか？

性・年代別で見ると、全体の認知度が 15.7%に対し、男性 20 代・30 代・50 代の認知度がそれぞれ 28.3%、25.5%、23.3%と高かった。男性の方が女性より認知度が高かった。



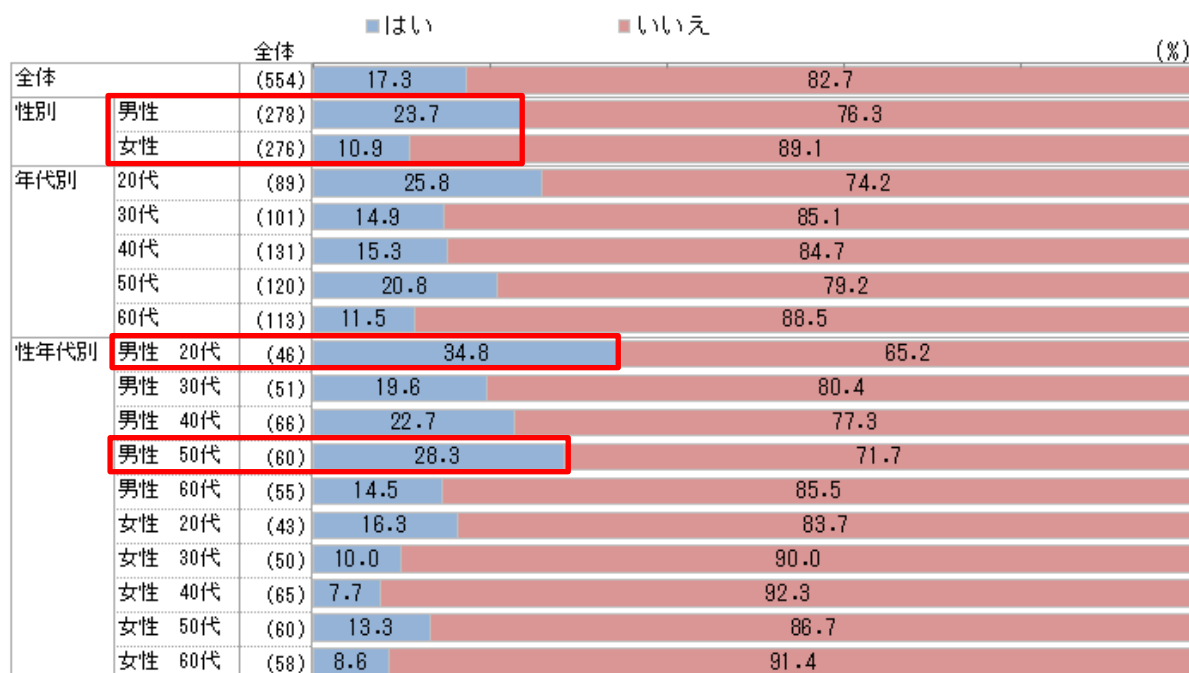
「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる、または説明はできない）」と回答した方の認知度は全体が 15.7%に対して 47.2%と高かった。

	全体	はい	いいえ
全体	(554)	87	467
Q5 あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。			
聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）	(18)	13	5
聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）	(90)	38	52
聞いたことはあるが、内容は知らない	(232)	27	205
聞いたことはない	(214)	9	205



②現在、様々なゲノム編集食品（超多量収穫イネ、芽に毒のないジャガイモなど）が開発中であることを知っているか？

性・年代別で見ると、全体の認知度が 17.3%に対し、男性 20 代・50 代の認知度がそれぞれ 34.8%、28.3%と高かった。男性の方が女性より認知度が高かった。



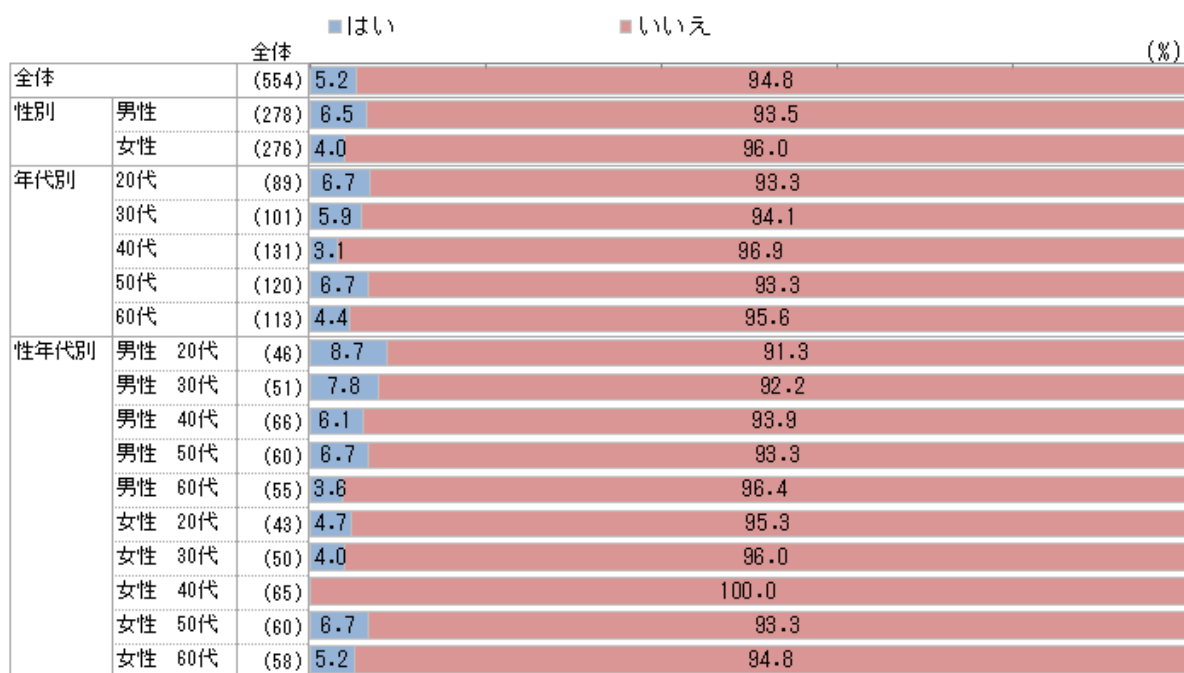
「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる、または説明はできない）」と回答した方の認知度は全体が 17.3% に対して 53% だった。

	全体	はい	いいえ
全体	(554)	96	458
Q5 あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。			
聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）	(18)	12	6
聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）	(90)	45	45
聞いたことはあるが、内容は知らない	(232)	31	201
聞いたことはない	(214)	8	206



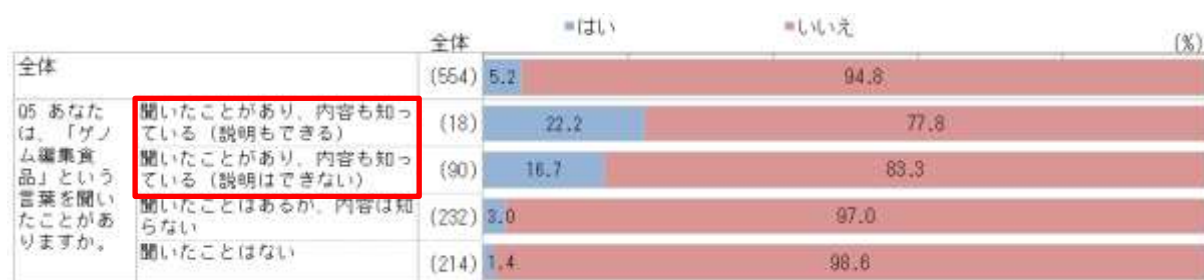
③ゲノム編集には、ノーベル化学賞を受賞した「クリスパーキャスナイン」（CRISPR-Cas9）が使われていることを知っているか？

性・年代別の認知度に大きな差異はなかった。



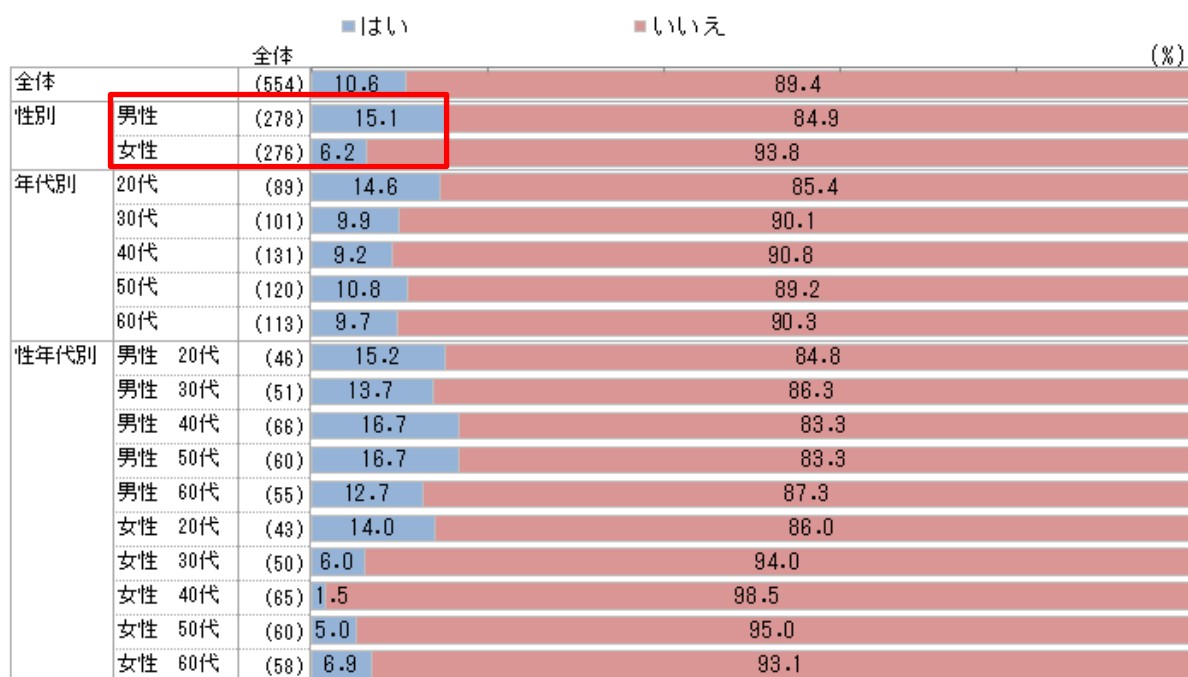
「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる、または説明はできない）」と回答した方の認知度は全体が 5.2%に対して 17.6%だった。

		全体	はい	いいえ
全体		(554)	29	525
Q5 あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。	聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）	(18)	4	14
	聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）	(90)	15	75
	聞いたことはあるが、内容は知らない	(232)	7	225
	聞いたことはない	(214)	3	211



④ゲノム編集食品は、厚生労働省が科学的に従来の品種改良と同等のリスクであると言っていることを知っている

性・年代別で見ると、男性の方が女性より認知度が高かった。



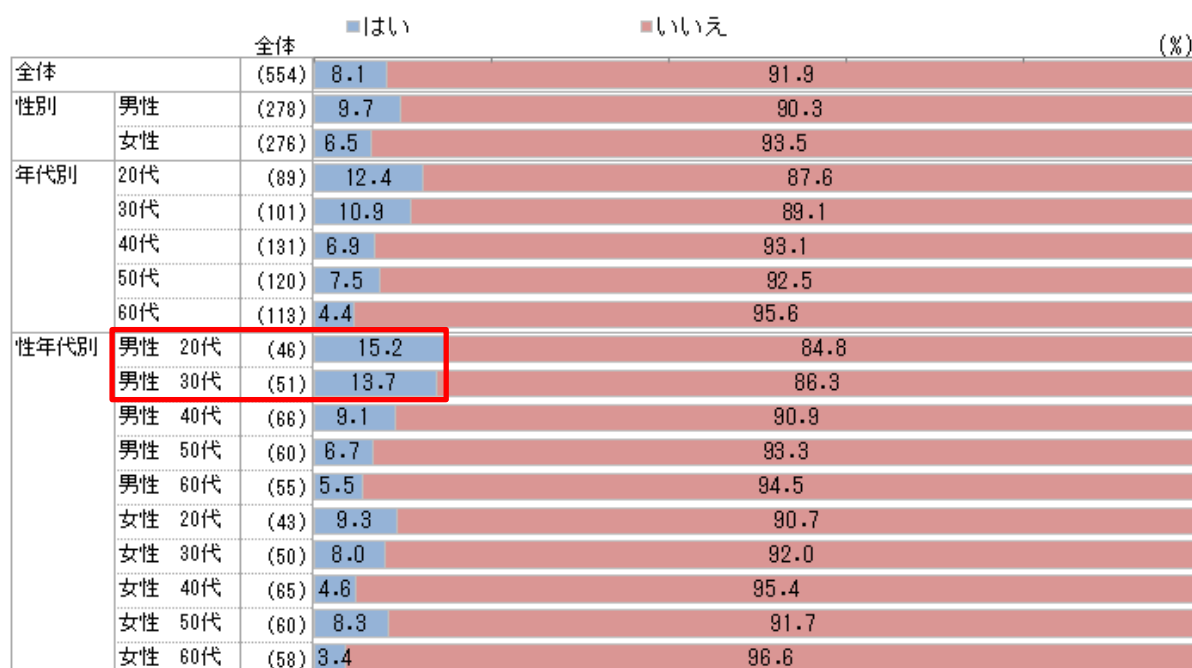
「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる、または説明はできない）」と回答した方の認知度は全体が 10.6%に対して 37%だった。

		全体	はい	いいえ
全体		(554)	59	495
Q5 あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。	聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）	(18)	11	7
	聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）	(90)	29	61
	聞いたことはあるが、内容は知らない	(232)	17	215
	聞いたことはない	(214)	2	212



⑤ゲノム編集食品の表示は、消費者庁が科学的に従来の品種改良や育種技術と区別ができないため、表示の義務化はせず任意表示としていることを知っている

性・年代別で見ると、全体の認知度が 8.1%に対し、男性 20 代・30 代の認知度がそれぞれ 15.2%、13.7%と高かった。



「ゲノム編集食品」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる、または説明はできない）」と回答した方の認知度は全体が 8.1%に対して約 27%だった。

	全体	はい	いいえ
全体	(554)	45	509
Q5 あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。			
聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）	(18)	7	11
聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）	(90)	22	68
聞いたことはあるが、内容は知らない	(232)	14	218
聞いたことはない	(214)	2	212



7. 「ゲノム編集食品」に関する情報をどのような方法で得たいか（Q9）

（1）ゲノム編集食品に関する情報を得ることができる機会のうち、参加したい/見たい/読みたいと思うものを回答いただいた。

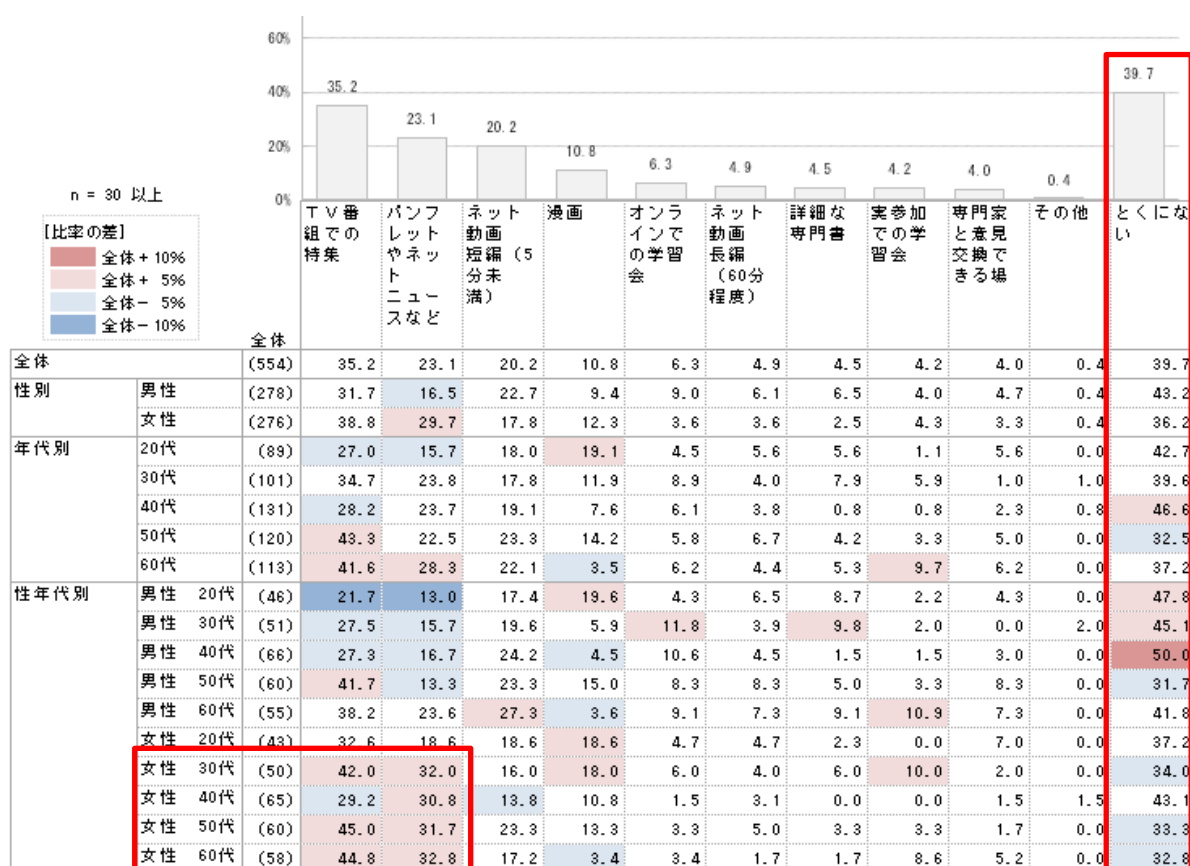
ゲノム編集食品に関する情報について、全体の約 35%の方が「TV 番組での特集」、約 23%の方が「パンフレットやネットニュースなど簡易な読み物」、約 20%の方が「ネット動画 短編（5 分未満）」と回答し、1 割の方が「漫画」と回答した。

複数回答	n	%
全体	(554)	
TV番組での特集	195	35.2
パンフレットやネットニュースなど簡易な読み物	128	23.1
ネット動画 短編(5 分未満)	112	20.2
漫画	60	10.8
オンラインでの学習会	35	6.3
ネット動画 長編(60 分程度)	27	4.9
詳細な専門書	25	4.5
実参加での学習会	23	4.2
専門家と意見交換できる場	22	4.0
その他	2	0.4
とくにない	220	39.7

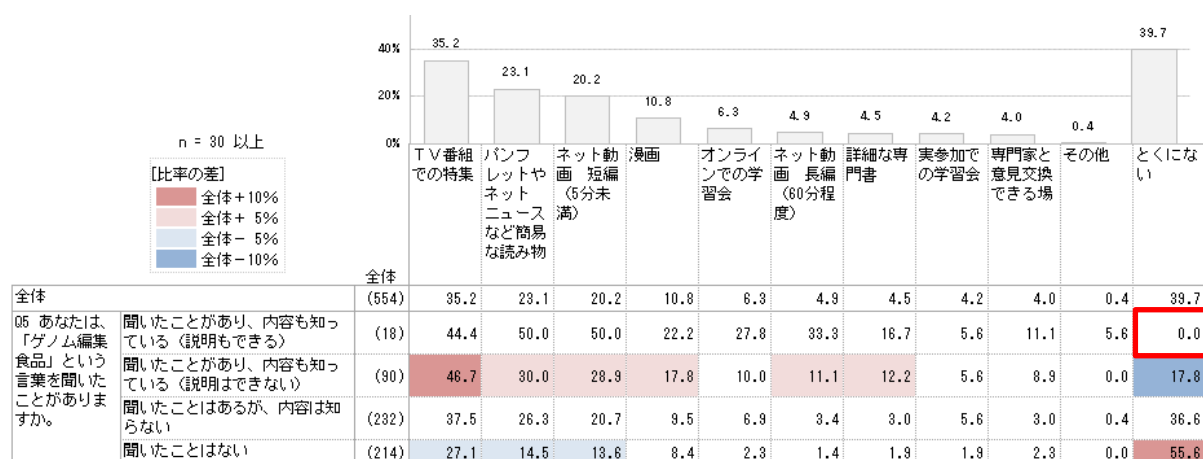


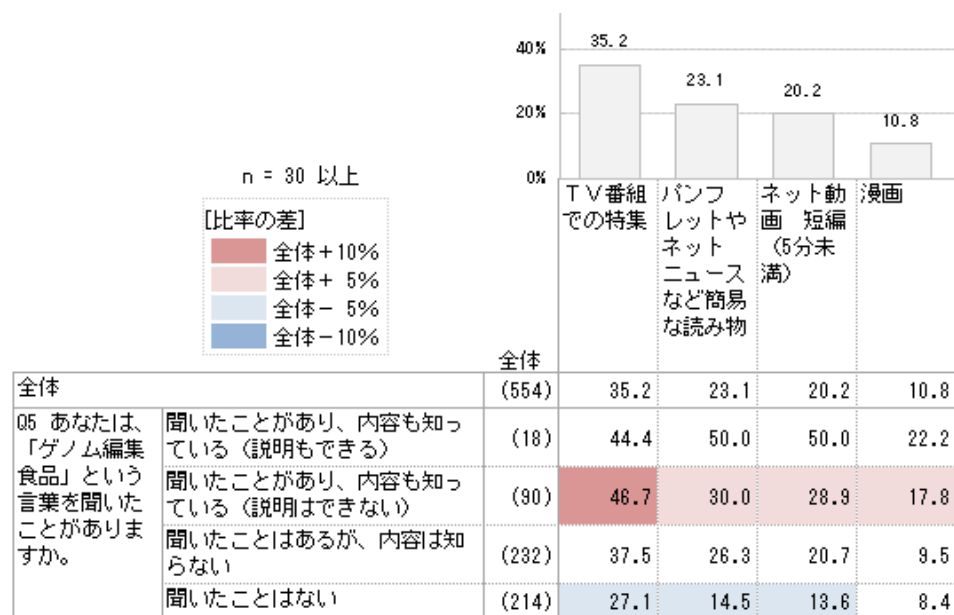
性年代別で見ると、女性の30代～60代は情報を得る機会として「TV番組での特集」「パンフレットやネットニュースなど」を求めている。

ゲノム編集食品について、前出の設問で、「聞いたことはあるが、内容は知らない」41.9%、「聞いたことがない」38.6%で、かつゲノム編集食品に対するイメージも「とくにイメージがない」が32.9%を占めており、多少のバラツキはあるが、特徴的なのが、全ての性・年代別で「とくにない」を3～4割選択しており、そもそもゲノム編集食品に対して興味・関心がなく、情報入手したいと思っていないようだ。

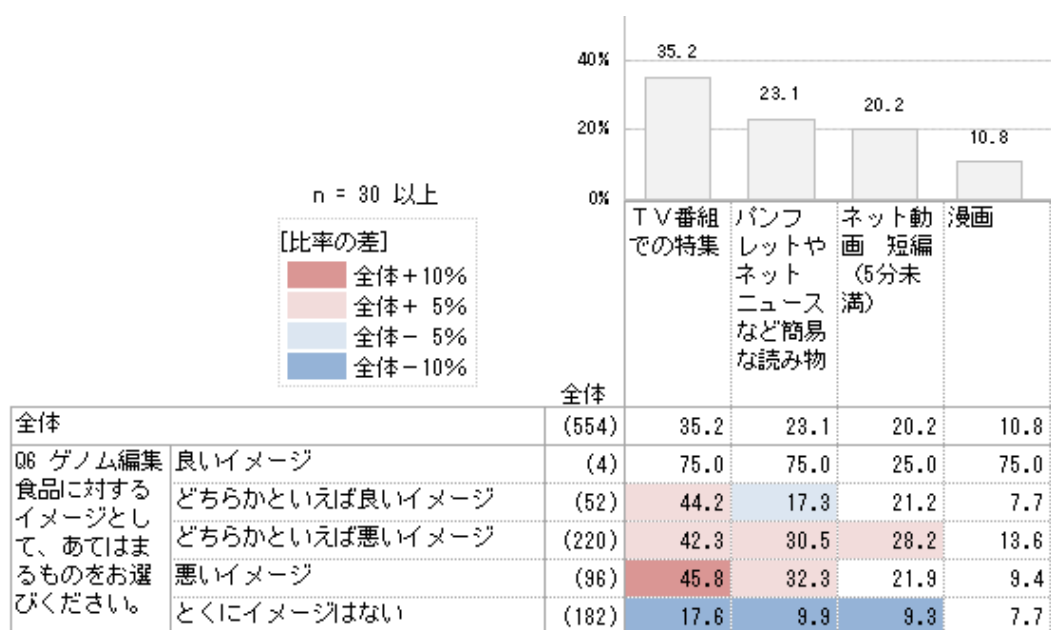


「聞いたことがあり、内容も知っている（説明できる）」を選択した方は少数だったが、「とくにない」の選択はなかった。





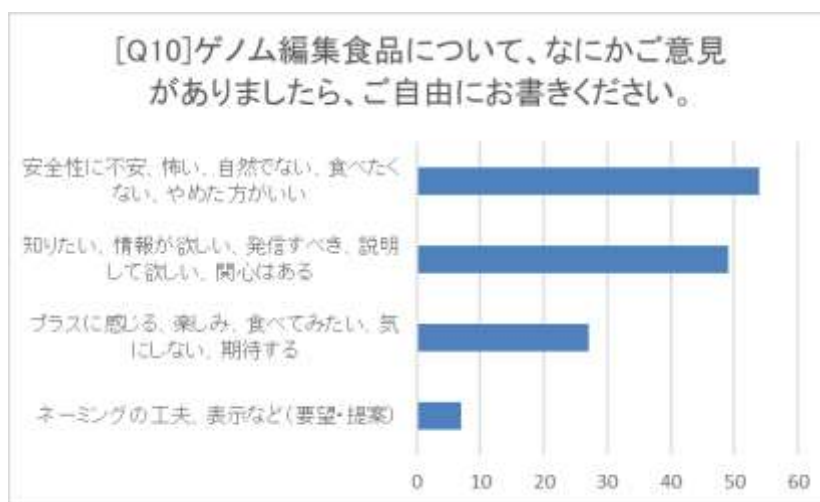
ゲノム編集食品へのイメージの差異によって、要望する情報入手方法に大きな差異はなかった。



8. 「ゲノム編集食品」についての自由記述（※任意回答）（Q10）

ゲノム編集食品について不安を持っている方の自由意見として、「あまり詳しくは周知されていないイメージがある」「安心安全であることが確実にわかる証拠を示してほしい」「聞き慣れないのでまだ詳しくどんな物か分かっていない。もっと知識を持たなければと感じた」「品種改良の一環だとも思っているが操作の過程などが不透明すぎて本当のところはどこまで行っているのかさっぱりわからない」「そもそも遺伝子操作されているのかと思うと人工的だし不自然な感じがするので、そういう過程で生産された農産物を摂取することに不安を感じる」「これまで普通に食べれた食品が変わることによって体に合わなくなったり、アレルギー反応を起こしたりしないのか心配」「将来起こりうる現象をしめしてほしい」「ゲノム編集されたものが人体に与える影響について、これからわかっていくことだと思うので今のところ全く信用していません」「報道等世間に公開する際は良い面だけでなく、今後課題になっていることやリスクなども発信して欲しい」「食の安定供給のために役立つのなら気軽に情報を得れるコンテンツを紹介して欲しい。イメージだけで悪いものという印象がある」「TikTok とか YouTube で短時間の動画を作成してわかりやすく説明してほしい」「様々な立場の意見を、公平に、比較、分析できればある程度不安も払しょくできるのではと思います」などの意見があった。ゲノム編集食品に対してネガティブな感想持っていても日本の食の安全は肯定している人が多く、ゲノム編集を前向きに捉えている人は日本の食の安全に対しても肯定的な考えの人が多いようだ。

	n
全体	554
安全性に不安、怖い、自然でない、食べたくない、やめた方がいい	54
知りたい、情報が欲しい、発信すべき、説明して欲しい、関心はある	49
プラスに感じる、楽しみ、食べてみたい、気にしない、期待する	27
ネーミングの工夫、表示など（要望・提案）	7
なし、特になし、わからない、空欄	417



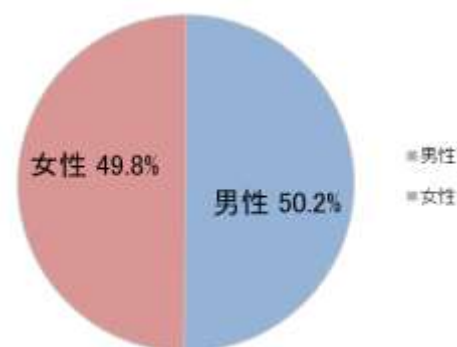
IV. 資 料

調査属性.....	3 6
調査票.....	5 0

調査属性

1. 性別

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	男性	278	50.2
2	女性	276	49.8

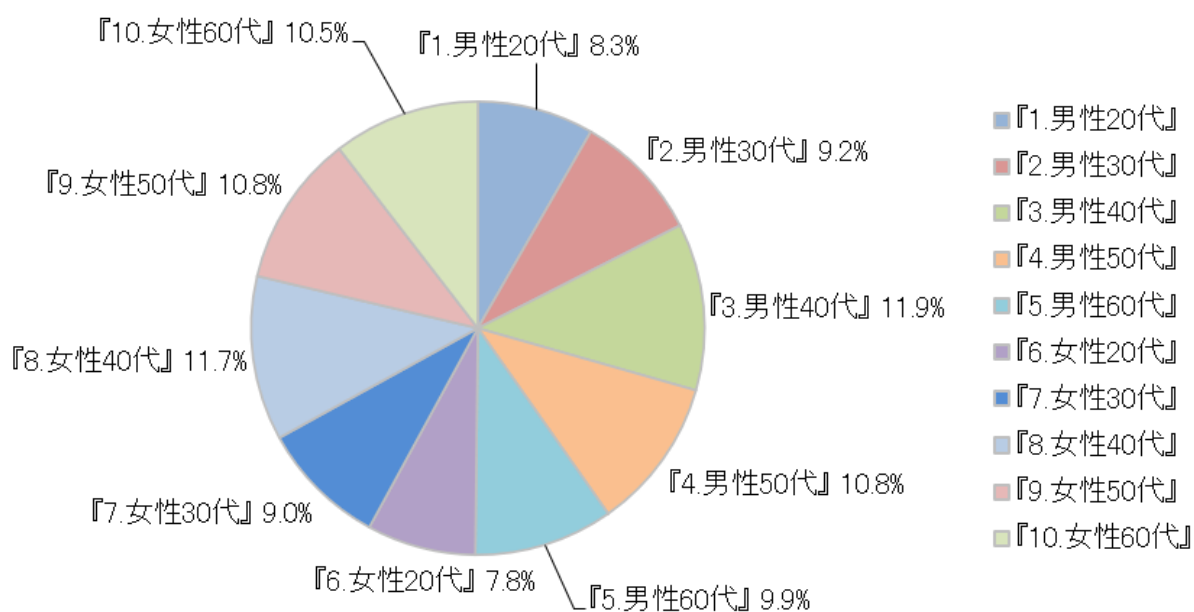


2. 年齢

全体	平均	最小値	最大値	中央値
(554)	45.91	20	69	47

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	『1.男性 20 代』	46	8.3
2	『2.男性 30 代』	51	9.2
3	『3.男性 40 代』	66	11.9
4	『4.男性 50 代』	60	10.8
5	『5.男性 60 代』	55	9.9
6	『6.女性 20 代』	43	7.8
7	『7.女性 30 代』	50	9.0
8	『8.女性 40 代』	65	11.7
9	『9.女性 50 代』	60	10.8
10	『10.女性 60 代』	58	10.5

※端数の関係で 100%になっていません



3. 住まい

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	【 北海道地方】北海道	23	4.2
2	【 東北地方】青森県	2	0.4
3	【 東北地方】岩手県	4	0.7
4	【 東北地方】宮城県	11	2.0
5	【 東北地方】秋田県	1	0.2
6	【 東北地方】山形県	3	0.5
7	【 東北地方】福島県	6	1.1
8	【 関東地方】茨城県	3	0.5
9	【 関東地方】栃木県	4	0.7
10	【 関東地方】群馬県	5	0.9
11	【 関東地方】埼玉県	34	6.1
12	【 関東地方】千葉県	33	6.0
13	【 関東地方】東京都	78	14.1
14	【 関東地方】神奈川県	55	9.9
15	【 中部地方】新潟県	12	2.2
16	【 中部地方】富山県	5	0.9
17	【 中部地方】石川県	5	0.9
18	【 中部地方】福井県	1	0.2
19	【 中部地方】山梨県	2	0.4
20	【 中部地方】長野県	5	0.9
21	【 中部地方】岐阜県	6	1.1
22	【 中部地方】静岡県	17	3.1
23	【 中部地方】愛知県	29	5.2
24	【 中部地方】三重県	11	2.0
25	【 近畿地方】滋賀県	4	0.7
26	【 近畿地方】京都府	10	1.8
27	【 近畿地方】大阪府	44	7.9
28	【 近畿地方】兵庫県	30	5.4
29	【 近畿地方】奈良県	7	1.3
30	【 近畿地方】和歌山県	5	0.9
31	【 中国地方】鳥取県	3	0.5
32	【 中国地方】島根県	1	0.2
33	【 中国地方】岡山県	10	1.8
34	【 中国地方】広島県	11	2.0

35	【 中国地方】山口県	4	0.7
36	【 四国地方】徳島県	1	0.2
37	【 四国地方】香川県	3	0.5
38	【 四国地方】愛媛県	7	1.3
39	【 四国地方】高知県	1	0.2
40	【 九州地方】福岡県	22	4.0
41	【 九州地方】佐賀県	2	0.4
42	【 九州地方】長崎県	8	1.4
43	【 九州地方】熊本県	8	1.4
44	【 九州地方】大分県	7	1.3
45	【 九州地方】宮崎県	4	0.7
46	【 九州地方】鹿児島県	1	0.2
47	【 九州地方】沖縄県	6	1.1

※端数の関係で 100% になっていません

4. 結婚の有無

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	未婚(離別・死別含む)	219	39.5
2	既婚	335	60.5

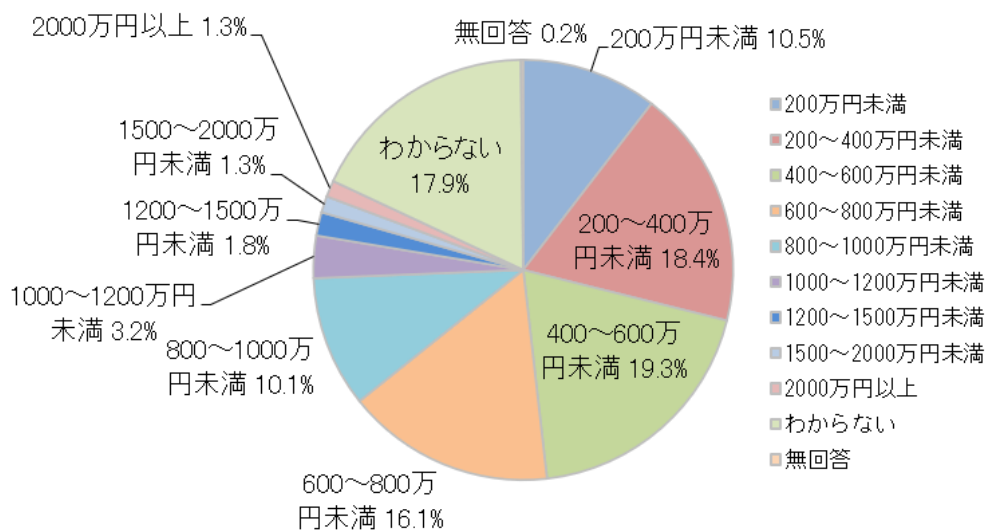
5. 子どもの有無

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	子供がいない	264	47.7
2	子供がいる	290	52.3

6. 世帯年収

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	200 万円未満	58	10.5
2	200～400 万円未満	102	18.4
3	400～600 万円未満	107	19.3
4	600～800 万円未満	89	16.1
5	800～1000 万円未満	56	10.1
6	1000～1200 万円未満	18	3.2
7	1200～1500 万円未満	10	1.8
8	1500～2000 万円未満	7	1.3
9	2000 万円以上	7	1.3
10	わからない	99	17.9
	無回答	1	0.2

※端数の関係で 100%になっていません

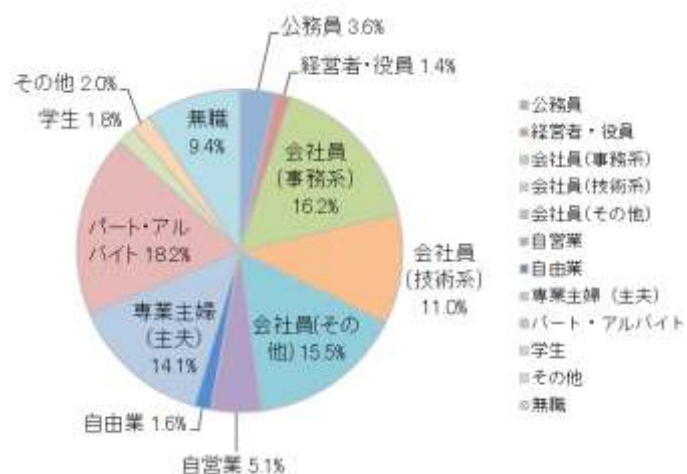


7. 回答者の年収

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	200 万円未満	204	36.8
2	200～400 万円未満	134	24.2
3	400～600 万円未満	76	13.7
4	600～800 万円未満	44	7.9
5	800～1000 万円未満	15	2.7
6	1000～1200 万円未満	7	1.3
7	1200～1500 万円未満	1	0.2
8	1500～2000 万円未満	3	0.5
9	2000 万円以上	2	0.4
10	わからない	68	12.3

8. 職業

単一回答		n	%
	全体	(554)	100
1	公務員	20	3.6
2	経営者・役員	8	1.4
3	会社員(事務系)	90	16.2
4	会社員(技術系)	61	11.0
5	会社員(その他)	86	15.5
6	自営業	28	5.1
7	自由業	9	1.6
8	専業主婦(主夫)	78	14.1
9	パート・アルバイト	101	18.2
10	学生	10	1.8
11	その他	11	2.0
12	無職	52	9.4



調査票

全員回答									
選択肢ランダムイズ：その他、排他は除く									
包含チェック：S1>S2									
Q1 食の安全について伺います。 食の安全について、あなたに関心があることをすべて教えてください。 また、そのなかでもっとも関心があることを一つだけお選びください。 ▲設問文を折りたたむ									
項目リスト									
単一回答	S1 関心があること（いくつでも）								
	S2 もっとも関心があること（ひとつだけ）								
選択肢リスト									
排他選択肢	☐	1.	食物アレルギー						
	☐	2.	食品添加物						
	☐	3.	残留農薬						
	☐	4.	食中毒						
	☐	5.	化学物質						
	☐	6.	ゲノム編集食品						
	☐	7.	遺伝子組み換え食品						
	☐	8.	輸入食品						
	☐	9.	原産地						
	☐	10.	健康食品						
	☐	11.	その他	FA 文字列					
	☐	12.	とくにない						
改ページ									
全員回答									
Q2 あなたは、以下の日本の食の安全を守る仕組みを知っていますか。 日本の食の安全を守る仕組みは、 ・リスク評価(食品安全委員会) ・リスク管理(厚生労働省、農林水産省など) ・リスクコミュニケーション の3要素から構成され、これらの行政機関の連携によって食品の安全性が確保されている ▲設問文を折りたたむ									
	☐	1.	よく知っている						
	☐	2.	ある程度知っている						
	☐	3.	聞いたことはある						
	☐	4.	知らない						

全員回答

Q3

あなたは、日本の食の安全についてどう思いますか。

▲設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 信頼できる
- ☐ 2. ある程度信頼できる
- ☐ 3. あまり信頼できない
- ☐ 4. 信頼できない
- ☐ 5. わからない

改ページ

セレクト条件：前問で、「わからない」以外を選択した人（Q3 = 1-4）

回答参照：Q3

Q4

前問で、日本の食の安全について【Q3の選択内容】とお答えになった理由を教えてください。
どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

▲設問文を折りたたむ

改ページ

C1

ここからは、「ゲノム編集食品」について伺います。

改ページ

全員回答

Q5

あなたは、「ゲノム編集食品」という言葉を聞いたことがありますか。

▲設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 聞いたことがあり、内容も知っている（説明もできる）
- ☐ 2. 聞いたことがあり、内容も知っている（説明はできない）
- ☐ 3. 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ☐ 4. 聞いたことはない

全員回答

Q6

ゲノム編集食品に対するイメージとして、あてはまるものをお選びください。
※ゲノム編集食品という言葉聞いたことがない方も、イメージでお答えください。

▲設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 良いイメージ
- ☐ 2. どちらかといえば良いイメージ
- ☐ 3. どちらかといえば悪いイメージ
- ☐ 4. 悪いイメージ
- ☐ 5. とくにイメージはない

改ページ

選択肢セレクト：Q6の回答内容によって選択肢を出し分け

選択肢グループランダムイズ：グループ1-2（選択肢22-24は除く）

選択肢リバースランダムイズ：選択肢1-21（選択肢22-24は除く）

回答参照：Q6

Q7

前問で、ゲノム編集食品に対して【Q6の選択内容】とお答えになった理由として、あてはまるものをすべてお選びください。また、そのなかで最もあてはまる理由を、ひとつだけお選びください。

▲設問文を折りたたむ

項目リスト

- S1 【Q6の選択内容】とお答えになった理由(いくつでも)
- S2 最もあてはまる理由(ひとつだけ)

単一回答

選択肢リスト

- | | |
|--------|--|
| Q6=1-4 | ☐ 1. 安全である |
| Q6=1-4 | ☐ 2. 安心である |
| Q6=1-4 | ☐ 3. 信頼できる |
| Q6=1-4 | ☐ 4. 先進的な技術開発である |
| Q6=1-4 | ☐ 5. おいしい |
| Q6=1-4 | ☐ 6. 価格が安い |
| Q6=1-4 | ☐ 7. 健康効果がある |
| Q6=1-4 | ☐ 8. 持続可能な生産である |
| Q6=1-4 | ☐ 9. 食料問題の解決につながる |
| Q6=1-4 | ☐ 10. 安定供給できる |
| Q6=1-4 | ☐ 11. SDGsへの貢献になる |
| Q6=1-4 | ☐ 12. 安全と思えない |
| Q6=1-4 | ☐ 13. 不安である |
| Q6=1-4 | ☐ 14. 信頼できない |
| Q6=1-4 | ☐ 15. おいしくない |
| Q6=1-4 | ☐ 16. 価格が高い |
| Q6=1-4 | ☐ 17. 健康を阻害する |
| Q6=1-4 | ☐ 18. 環境への影響がある |
| Q6=1-4 | ☐ 19. 食文化への影響がある |
| Q6=1-4 | ☐ 20. 国の規制がない |
| Q6=1-4 | ☐ 21. 情報が少ない |
| Q6=5 | ☐ 22. わからない |
| Q6=5 | ☐ 23. 興味がない |
| | ☐ 24. その他 |

FA文字列

全員回答

項目ランダムイズ : S1-S5

Q8

以下の項目に、それぞれ「はい」か「いいえ」のどちらかでお答えください。

▲設問文を折りたたむ

項目リスト

- S1 ゲノム編集食品が市場に登場したこと(GABAが多く含まれるトマト、肉厚のマダイ、成長の速いトラフグのいずれか)を知っている
- S2 現在、様々なゲノム編集食品（超多量収穫イネ、芽に毒のないジャガイモなど）が開発中であることを知っている
- S3 ゲノム編集には、ノーベル化学賞を受賞した「クリスパーキャスナイン」（CRISPR-Cas9）が使われていることを知っている
- S4 ゲノム編集食品は、厚生労働省が科学的に従来の品種改良と同等のリスクであると言っていることを知っている
- S5 ゲノム編集食品の表示は、消費者庁が科学的に従来の品種改良や育種技術と区別ができないため、表示の義務化はせず任意表示としていることを知っている

選択肢リスト

- ☐ 1. はい
- ☐ 2. いいえ

改ページ

全員回答

選択肢グループランダムイズ : グループ1-3（その他、排他は除く）

選択肢リバースランダムイズ : 選択肢1-9（その他、排他は除く）

Q9

以下のような、ゲノム編集食品に関する情報を得ることができる機会のうち、参加したい/見たい/読みたいと思うものを選びください。

▲設問文を折りたたむ

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ☐ 1. | 実参加での学習会 |
| ☐ 2. | オンラインでの学習会 |
| ☐ 3. | 専門家と意見交換できる場 |
| ☐ 4. | TV番組での特集 |
| ☐ 5. | ネット動画 長編（60分程度） |
| ☐ 6. | ネット動画 短編（5分未満） |
| ☐ 7. | パンフレットやネットニュースなど簡易な読み物 |
| ☐ 8. | 詳細な専門書 |
| ☐ 9. | 漫画 |
| ☐ 10. | その他 |
| ☐ 11. | とくにない |

FA 文字列

排他選択肢

改ページ

全員回答

Q10

ゲノム編集食品について、なにかご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

▲設問文を折りたたむ

2022 年度ゲノム編集食品に関する調査 報告書

発行月 2022 年 12 月

発 行 全国消費者団体連絡会

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6 F

TEL 03-5216-6024 FAX 03-5216-6036

調査協力 株式会社マクロミル

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F

TEL 03-6716-0710 FAX 03-6716-0779